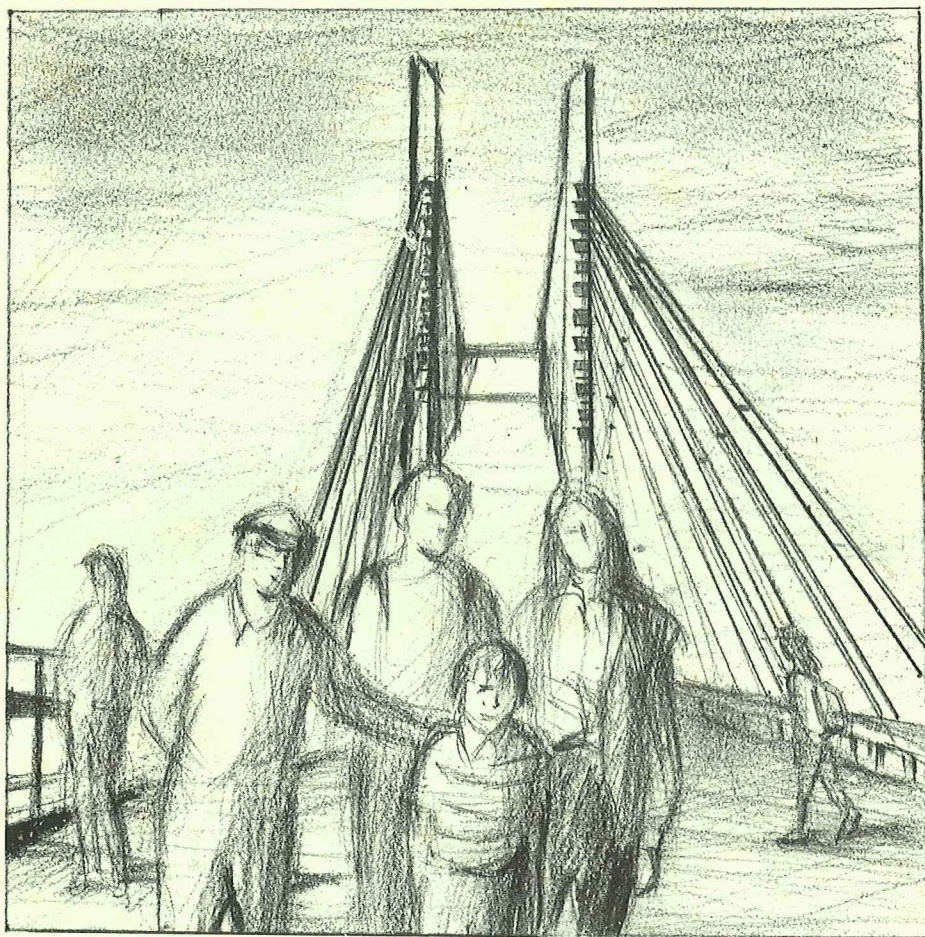


第 6 回  
東京玉翠会



1988. 4. 3. 瀬戸大橋 ウォークラリー M.O

わたっていい友!

とき 昭和63年 6月25日(土)  
午後 5時～7時30分  
ところ 赤坂プリンスホテル  
クリスタルパレス

Apple Computer

Canon



ハード、咲く。  
ソフト、咲く。

**キヤノンは、マック&ソフトを咲かせます。** ハードが力をつけました。ソフトも広がりを持ち始めました。こうしてマックに付加価値をつけていくのは、キヤノンです。これからのハードもソフトも、キヤノンが見事に咲かせてみせます。パーソナルからトータルなビジネス環境にいたるまで、それぞれの人にあつたコンピュータ環境を創造して行きます。いまマック3機種、プリンタ6機種、強力ソフトも出揃って、全国各地のキヤノンアップル販売店がサポートしています。あなたにぴったりのシステムを見つけてください。マックの日本語環境も花開いて来ました。

Macintosh™

6月11日より、Plus、SEは、よりお求めやすい新価格になりました。Macintosh Plus 2MB漢字 標準価格¥388,000 Macintosh SE 2MB漢字 ¥598,000 - Macintosh II 2MB漢字 ¥778,000 - Appleの名称、ロゴはアップルコンピュータ社の登録商標です。Macintoshはアップルコンピュータ社の商標です。

アップルコンピュータ国内販売元 〒108 東京都港区三田3-11-28 (03) 455-9131 札幌 (011) 231-1313 / 仙台 (022) 267-3987 / 関東 (東京・神奈川・山梨は除く) (03) 455-9595  
 キヤノン販売株式会社 名古屋 (052) 565-0926 / 大阪 (06) 444-6020 / 広島 (082) 244-4615 / 高松 (0878) 22-3666 / 福岡 (092) 411-4668  
 ▶資料請求は東京都港区三田3-11-28 キヤノン販売株式会社事務機室迄まで

東京都 MAC  
8088-64  
7-201

## 式 次 第

一、開会の辞 司会 原内紀夫・西山京子(昭和39年卒)

一、東京玉翠会会長挨拶 平井健吉(大正7年卒)

一、議 事

1. 報告事項
  - (1) 会計報告
  - (2) 監査報告

一、来賓のご紹介

一、来賓挨拶

学校代表 高松高等学校長 松繁壽義先生  
 玉翠会 会長 綾田整治氏

一、懇親会次第

1. 乾杯
2. 展示物紹介
3. 瀬戸大橋クイズ
4. 母校図書購入資金贈呈
5. 次回総会担当幹事紹介(昭和40年度卒)
6. 校歌斉唱

一、閉会の辞



## 目 次

式次第	1
昭和62年度収支計算書(監査報告)	5
高松中学校校歌	6
高松高等女学校校歌	8
高松高等学校校歌	10
ごあいさつ(学校長あいさつ)	13
どっさん高松	14
母校の歩み	18
どおっしょんな(卒業生からの近況ミニレター)	23
寄稿 昭39卒の諸君へ(昭和39年当時国語科 草薙正典)	26
瀬戸大橋と夕風と(高女昭和5年卒 佐伯綾子)	28
僧堂へ上る日のあさ(高女昭和16年卒 兼元春子)	30
向田邦子さんの女学生時代をしのぶ(高中昭和16年卒 藤井 勲)	32
他郷苦辛多し(高高昭和29年卒 西村秀俊)	35
女王丸(高高昭和26年卒 河江一仁)	36
友との再会(高高昭和34年卒 三栖祥児)	38
忘れえぬ人々(高高昭和39年卒 兼元俊徳)	40
生徒会報告(第77代生徒会会長 藤本智子)	42
地元39会の近況(高高昭和39年卒 吉岡哲朗)	43
第6回東京玉翠会総会幹事を担当して	44
東京玉翠会会則	46
東京玉翠会役員名簿	49
東京玉翠会高中部会幹事名簿	50
東京玉翠会晩翠部会幹事名簿	52
東京玉翠会(高高)幹事名簿	53
寄贈図書目録	56
商品寄贈会社	57

昭和62年度収支計算書(案)

自 昭和62年4月1日  
至 昭和63年3月31日

東京玉翠会

会長 平井 健吉

<特別会計>

支出の部		収入の部	
科目	金額(円)	科目	金額(円)
会場使用料	4,416,600	総会出席会費	4,384,000
会場運営費	1,205,000	男子 349人	
総会準備費	1,946,590	女子 271人	
母校寄付金	150,000	寄付金収入	227,725
		雑収入	2,793,242
		一般会計よりの受入金	313,223
合計	7,718,190	合計	7,718,190

<一般会計>

支出の部		収入の部	
科目	金額(円)	科目	金額(円)
支部交付金	226,700	前期繰越金	4,132,465
会議費	70,600	年会費	598,000
通信費	47,310	預金利子	100,186
事務用品費	14,340		
立替金	100,000		
特別会計への繰越金	313,223		
次期繰越金	4,058,478		
合計	4,830,651	合計	4,830,651

(A)次期繰越金

内訳 (イ) 百十四銀行東京支店

普通預金 No.125044 338,017円  
定期預金 満期63.4.25 500,000  
定期預金 満期63.5.6 1,000,000  
定期預金 満期63.6.26 1,000,000  
定期預金 満期63.10.19 1,179,861

(ロ) 手持現金 40,600

(4,058,478)

脚注 東京高中会並に晩翠会東京支部よりの受入基金1,500,000円は、上記定期預金にて運用されています。

(B)立替金

内訳 第6回総会準備金 100,000

上期収支計算書について監査の結果、適正なることを認める。

昭和63年5月18日

監事 松田和光 ㊟  
同 鷹尾律子 ㊟



(大正4年9月制定)

# 高松中学校校歌

作詩 藤井 静夫  
作曲 安田 俊高

## 1. 朝日輝く屋島山

小波寄する玉藻浦

平和漲る其の響

生氣溢る、其の光

我が学舎に充ち満ちて

いそしむ健児一千餘

## 2. 御稜威と共にいや高く

朝夕あふぐ碑は

日嗣の皇子の行啓の

千代に朽ちせぬ記念なる

奮闘努力の健勇児

ゆめな忘れそそのかみを

## 3. 巖冬霜雪色かへぬ

紫雲の松を名に負へる

我が中学の健児等よ

堅忍不撓功遂げて

屋島山頭いや高く

名誉の旗を翻へせ

あーさひ かがやく やしまやま さぐなみ よする  
 たまもう ら へーいわ みなぎる そのひびき  
 せーいき あふるる そのひかう わかまな びやにー  
 みちみちて いそしむけんじ いっせんよ  
 ひるー が え せ

(大正3年9月14日制定)

# 高松高等女学校校歌

作詩 小原 虎一  
作曲 内藤 蝶

1. みれども飽かぬ  
玉藻の浦  
千尋の底に  
しづくなる  
その白珠の  
麗はしき  
清き心を見がかん  
みがかんをとめわれ

2. 朝夕仰ぐ  
屋島の山  
峰の上はるかに  
ならび立つ  
その山松の  
色かへぬ  
高き操を守らむ  
守らむをとめわれ

3. 開くる御代の  
幸おほき  
身にはつとめも  
さはなれば  
うら若き日を  
たゆみなく  
をみな業を習はむ  
習はむをとめわれ

4. いや榮えゆく  
皇国の  
生ける効ある  
御民ぞと  
仁慈あまねき  
大君の  
みこと畏み盡さむ  
盡さむをとめわれ

みれどもあかぬたまものうら -  
ちひろのそこにしづくなる -  
そのしらたまのうるわしき -  
さよきころをみがかんみがかんお  
とめわれ  
れ -



(昭和26年12月17日制定)

# 高松高等学校校歌

作詞 河西 新太郎  
作曲 芥川 也寸志

1. 世紀新たな 陽に映えて

朝雲匂う 屋島山

おお眉清き 若人が

向学の念 揺ぎなく

澁刺拳る 意気を見よ

2. 平和かがやく 波よせて

鏡と澄める 玉藻浦

おお純潔の 若人が

真理の道を 究めゆく

独立自主の 熱意見よ

3. 仰ぐ紫雲の 松風に

雪持笹の さみどりに

おお希望わく 若人が

自由と愛の 血に燃ゆる

わが高松高校の 自治を見よ

## 朝日輝く(校友会の歌)

1. 朝日輝く屋島山

さざ波寄する玉藻浦

平和みなぎるその響き

精気あふれるその光

我が学舎に満ち満ちて

いそしむ健児一千余

2. 厳冬霜雪色変えぬ

紫雲の松を名に負える

我が高松の健児らよ

堅忍不撓功遂げて

屋島山頭いや高く

名誉の旗をひるがえせ

Conbrío ♩=108

せいき-あらたな ひにはえて

あさぐもにおう やしまやま おまゆきよき わこう-どか

こうかくのねん ゆるぎなくはつらつこそ るい

を み よ よ

あさひかが やくやし-まやまぎ

がなみよ-するたまもうらへ

いわみなぎるそのひびきせ

い-きあふるるそのひかり-

わがまなびやにみちみちていそしむけんじ

いっせんよ

# ごあいさつ



香川県立高松高等学校

校長 松 繁 壽 義

東京玉翠会の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

昨年度は、本校体育館の建設につきまして特段の御芳志を賜り、おかげで西陣つづれ織りの緞帳は、高らしい品格を新しい体育館に添えることができました。去る一月十四日に行われました落成式には、平井知事をはじめ多くの卒業生のご来臨をいただき、職員生徒ともども本校の一層の発展を期した次第であります。

この体育館に引き続いて校舎の全面改築を計画しておりますが、本年度、県、県教育委員会、県議会等のご高配により、その実施設計に入ることが決定しましたので、長年の夢がいよいよ現実のものとなってまいりました。募金いただいております同窓会館は、新しい校舎の中に組み込んで建設されることになりました。

新体育館の誕生により、学校には活気がみなぎっております。面積においても、高さにしても、また外観からも他校に類を見ない大

型の堂々たる構造は、生徒にもおのずから自信と誇りを与え、若々しい活力に満ちた教育活動が見られるようになりました。

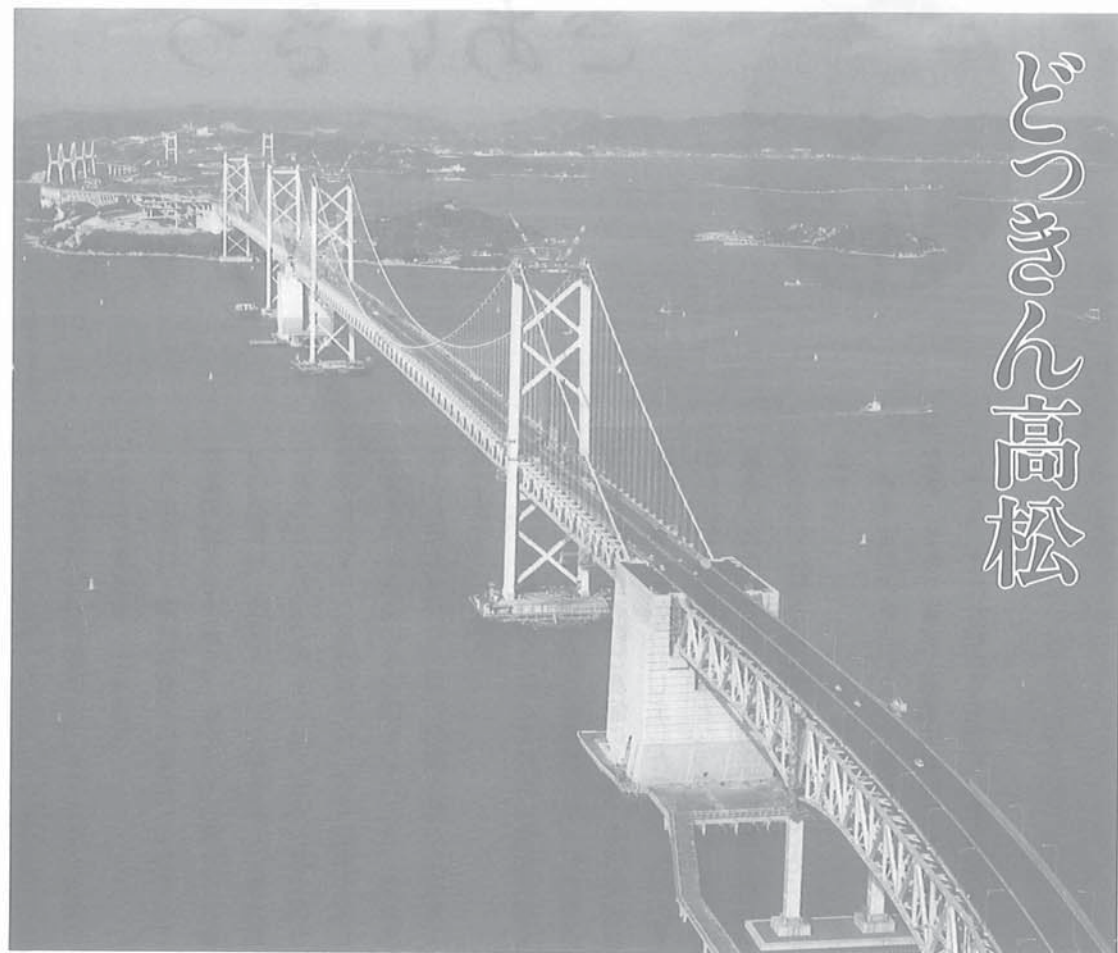
学校行事等にこの体育館を有効に利用して、生徒全員が一堂に会することによって、同じ学び舎で青春を共にする喜びを体験させ、生徒相互の連帯感や帰属感を育成したいと考えております。

本年度の大学進学等につきましては、大学入試制度の大きな変革がありました。予期以上の成果を収めることができました。来春は、本年以上に進路選択の幅が狭くなり、進路指導がさらに困難になるものと思われまので、対応を誤まることのないよう本年度も努力をいたす所存であります。

百万県民待望の瀬戸大橋が開通したことでもあり、御帰郷の折にはぜひ本校にお立ち寄り下さいまして、御指導を賜りますようお願い申し上げます。

皆様の御健勝と東京玉翠会の一層の御発展を祈念いたします。





# どきどき高松

夢の大橋が、夢でなくなった。児島と坂出が隣りの市になった。  
 橋のたもとの両側で、瀬戸大橋博覧会のお祭りが、このドッキングを祝う。  
 連絡船がなくなった。静かな波の音が聞こえなくなった。飛び魚が見えなくなった。  
 少年時代に戻してくれるタイムトンネルの1時間もなくなった。  
 明治に、この大橋の夢を語った男がいたという。四国が取り残されないように。  
 故郷の友人は、「いかんでえ、10年は遅れとるわ」と嘆く。  
 対岸から人がどっと入ってくる。文化とか開発とか発展の夢をひっさげて。  
 ダメなところを真似ないためには、10年遅れもいい。夢の大橋は、ただの大きな鉄の橋。  
 運ぶものが夢なのだ。ドッキン。四国の奥で竜馬もそれを見ている。

## かわりゆく高松



### ●丸亀町、片原町

ここは、高松の銀座。日本一の荣誉に輝いたこともある丸亀町をメインにした美しい商店街。品物もそろい、スペースもゆったりとして買い物客のセンスも東京の銀座に負けをとらない。近くには、高松唯一のデパートがある。



### ●中央商店街

アーケード西日本一の並木のある中央商店街。夜の繁華街、「キタ」のライオン通りと「ミニミ」の瓦町界限と並んで、繁栄する人口33万高松を象徴するにぎやかな通り。



### ●中央公園

ちょっと一息。そんな時、手軽な市民公園が中央球場跡に完成。母校の先輩、菊池寛の銅像がこの一角にある。県庁、市役所、図書館も近く市民の憩いの広場となっている。



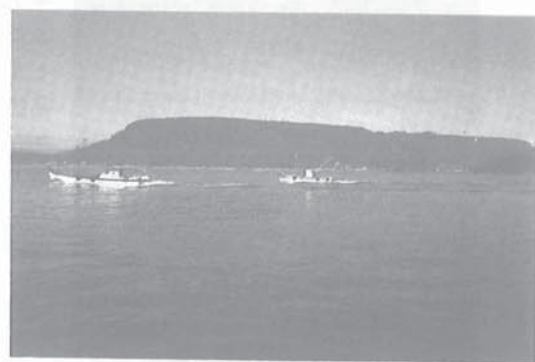
### ●高松まつり

この数日間、"南国高松"の情熱が飛び散る。8月12~14日、商店街や官公庁、会社などの組織する踊り子連が真夏の夜の夢をくり広げる。リズムは勿論、「一合まあいた靱のたあね……」まさしく郷土繁栄のシンボルだ。





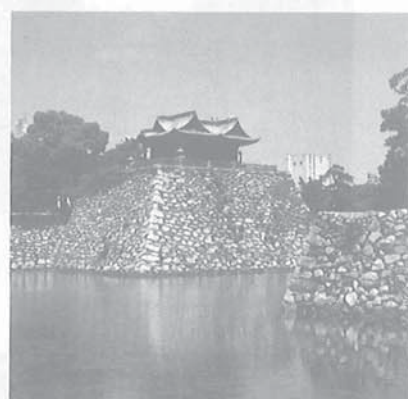
●四国村  
四国各地の暮らしが昔のまま息づいている。



●屋島  
今は懐しい思い出となった、連絡船から見た屋島。



●栗林公園  
春は花見、秋はもみじ。古松の姿には王者の風格が…。



●玉藻城  
水城として誉の高い玉藻城跡。紅白の燈台をぬけると、玉藻城が見えた。



●瀬戸内海歴史民俗資料館  
瀬戸内海周辺の歴史、民俗資料を集め、五色台国民休暇村に花を添える。

名所・旧跡



●正門  
心地よい響きの校名。



●高松高校 校庭  
旧体育館が壊され、広々とした中庭。でも、我らが「くすの木」は残った。



●体育館  
63年1月完成したばかりの体育館、一階に武道場を備えた三階建て。



●母校 玄関  
優しく迎えてくれた絵と詩。



●教室  
木の床の香りも懐かしい。



●どん帳  
わが玉翠会から寄贈した(高)松をあしらった西陣つづれ織りが、中央の舞台を飾る。



# 母校の歩み

## 草創のあの頃

香川県立高松中学校沿革

年・月・日	沿革
明治 25・5	高松市に一中学を、丸亀市にその分校を設立する議案が県会を通過。ただちに高松市五番丁に起工。
26・3	文部大臣より開校許可。香川県尋常中学校と称する。定員350名、10学級。本校当時の敷地6582坪の大部分は、旧藩主松平家の寄附による。
27・5・5	本校創立記念式挙行。以後これを恒例とする。
31・4	香川県立高松尋常中学校と改称。定員600名。丸亀分校独立。(丸亀中学校)
32・4	香川県立高松中学校と改称。
33・4	大川分校新設。
34・9	校旗制定。
36・4	大川分校独立。(大川中学校)
36・10・11	東宮殿下(大正天皇)行啓。
42・3	寄宿舎落成。 (生徒670名。昭和6年3月まで)
45・2	交友会誌「玉藻」創刊。

香川県立高松高等女学校沿革

年・月・日	沿革
明治 24・10・25	讃岐婦人進徳会は、高松市天神前大護寺内に進徳女学校を設け本科、選科の二科を置き授業を開始。
26・5	香川県高等女学校と改称し、学則を改めて本科、予科、別科の三科とする。
27・11	学校を3番丁東福寺内に移す。
28・8	晩翠会の組織成る。
29・4	学則を改正し本科、補習科、技芸専修科の三科とし、分教場を3番丁正覚寺内に置く。
30・5・30	5番丁に新校舎落成。
31・9	寄宿舎2階建て1棟新築落成。
32・4	私立香川県高等女学校と改称。
33・8	「晩翠会雑誌」創刊。
34・6	雪持笹の徽章を制定。
35・4・1	県立に移管し、香川県立高松高等女学校と改称。
40・1・1	袴に白テープ一本を附する。

## 大正はデモクラシイだった

香川県立高松中学校沿革

年・月・日	沿革
大正 4・3	卒業生の寄附による記念図書館新築落成。
4・9	校歌制定。
7・3	武道場新築落成。
7・5	創立25周年。
8・8	理化博物教室、銃器室、寄宿舎、物置新築落成。
11・4	定員1000名、20学級とし、毎年1学級ずつ増加。
12・5	創立30周年記念式挙行。
12・11	講堂新築落成。
13・12	学級増加に伴い本館中央を二階建てに改造。
15・3	学級増加に伴い本館部を二階建てとし、学校長室、教員室、事務室、宿直室等も模様替え。

香川県立高松高等女学校沿革

年・月・日	沿革
大正 2・10・25	晩翠堂落成式。(創立20周年記念)
3・9	校歌制定
8・2	学則改定。修業年限5ヵ年、定員700名。
11・11・21	皇太子殿下行啓
14・4	学則を一部改正し、定員750名とする。



寄宿舎談話室



平均台体操

昭和11年3月24日

高松中学 口頭試験

民のため心のやすむ時ぞなき身は九重の内にありても  
コレハ明治天皇の御製デスガ

問 コノ御製ニハドンナ大御心ガアラハレテキマスカ  
問 コノ御製ヲ拝読シテアナタハドンナ心ガケヲモタネ  
バナラスト思ヒマスカ

高松高女 歴史

万山重からず君恩重し、一髪軽からず我が命軽し

1. どんな意味ですか
2. 書いた人の心持はどこにありますか
3. この心持はどういふ事実となつてあらはれましたか
4. 之を読んでどんな感じがしますか

昭和	沿革
3・8・20	第14回甲子園野球大会準決勝対松本商戦雨のため6回で涙の敗退。
3・10・11	御真影奉安殿を建設。
4・8・27	全国中等柔道選手権大会優勝。

昭和	沿革
4・4・29	皇太子殿下行啓記念図書館(仰光館)落成式。
5・10・30	校旗奉戴式。
11・4・3	校舎改築地鎮祭。



高松中学校校舎正門



高松高女校舎正門

成績表(菊池 寛のばあい)

第五學年 (明治四十二年三月)		第一學年 (明治三十七年三月)	
修身	95	修身	95
國語	95	國語	95
漢文	95	漢文	95
作文	95	作文	95
英語	95	英語	95
歴史	95	歴史	95
地理	95	地理	95
算術	95	算術	95
物理	95	物理	95
化学	95	化学	95
生物	95	生物	95
図画	95	図画	95
音楽	95	音楽	95
合計	95	合計	95
平均	95	平均	95
次順業學	95	次順業學	95



菊池 寛



# 戦 争 の 時 代

# 平 和 の 時 代、新 制 高 松 高 校



創立50周年記念



勤勞奉仕

香川県立高松高等女学校沿革

香川県立高松中学校沿革

年・月・日	沿 革
昭和	
18・5・5	創立50周年記念式挙行。
19・7・19	学徒報国隊尼崎市大阪機械へたつ。(5年、93名)
19・9	三井造船(4年、200名)、林飛行場(3年)
20・7・4	戦災のため校舎焼失、2年堀川君犠牲。焼跡でテント教室、10月から分教場へ。
22・2・20	校友会誌「玉藻」(第32号)復刊。
22・3	分教場を廃止。
22・4	6月まで本校で四部授業。
22・5	旧敷地に16教室竣工。
22・6	平常授業。
23・4・1	新学制により香川県立高松高等学校と改称。通信教育課程併置。
23・6・25	本館竣工。(21教室)
23・7・24	「高松高校新聞」創刊。

年・月・日	沿 革
昭和	
13・9・1	校舎改築、鉄骨コンクリート3階建て、竣工。修祓式。
14・4・1	本年度より第1学年定員200名。
15・10・25	26日まで改築落成式および創立50周年記念式挙行。
19・1・27	女子挺身隊山口県光市へたつ。
19・10	川西航空機(4年、250名) 倉敷飛行機(5年、3年)
20・7・6	県庁舎戦災焼失のため仮庁舎として本校を使用。
20・7・30	分教場授業開始。
21・2・15	香川県立高松高等女学校復興後援会結成。
21・8・20	分教場を廃し、本校校舎で一斉授業を開始。
23・4・1	新学制実施により香川県立高松女子高等学校と改称。
23・6・1	定時制課程を置く。
24・2	運動場を南に850坪拡張。(岡内氏邸ほか)



銃剣道部

関兵分列行進



香川県立高松高等学校沿革



空襲で焼け残った高松高女校舎(現 高松高校正門)



高松高校新聞第5号



校舎全景(新体育館の建設前)

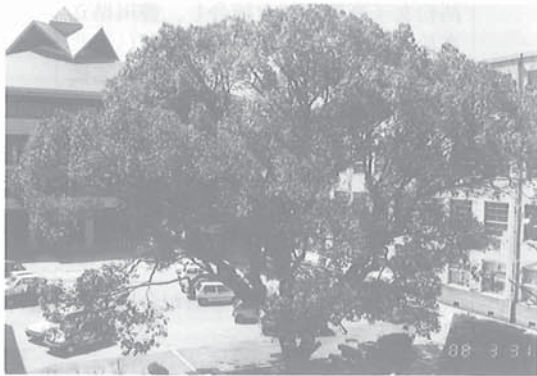
年・月・日	沿 革
昭和	
24・4	旧香川県立高松高等学校、旧香川県立高松女子高等学校を統合し、香川県立高松高等学校設置。両校舎において共学の授業を開始し、本部を旧女子高校に置き旧高松高校を西館と称する。普通科1741名、家庭科30名、定時制173名。通信教育200名。
24・6	旧両校PTA合同結成。
24・7	文芸部誌「CHAOS」創刊。
24・9	自治会発足。
25・1	晩翠会と旧高松高校同窓会が合同し玉翠会として発足。
25・3	校友会誌「玉翠」創刊。
25・10	第1回運動会。
25・12	第1回文化祭。
26・1・22	第1回大学進学適性検査(平均47.5。30年まで)
26・10・5	校舎増築270.5坪鉄筋3階で9教室完成。西館を廃止して全員本館に集結。
26・12・17	新校歌発表会。
27・5	補習科発足。60名。
28・10・26	第8回国体に女子体操部優勝。(曾我部、関)
29・1・20	学区制改革。(高松市内学区廃止。区内95%、区外5%)
30・9・1	旧香川県立高松中学校跡にある本校西運動場2589坪の整地完了。
30・10・20	新体育館310坪鉄筋3階落成。
31・4・1	家庭科生徒募集停止。
32・11・15	16日まで男女一緒に修学旅行。(山陰)
33・11・2	特別教室(音楽室、作法室、食堂)鉄筋3階建て206坪落成。
33・12・15	西運動場(旧高松中学校敷地の一部)に東宮殿下(大正天皇)行啓記念碑の礎石を移して、旧高松中学校の発祥地を記念する石碑を建立する。
36・7・2	プール落成。
37・8・19	第3回全国高校ヨット選手権大会に女子ヨット部A級優勝。
38・3・9	生徒自治会を生徒会と改称。
38・5	新校舎(南館)4階建て7教室落成。急増第1期工事。全国高校進学率66.8%。
38・11・16	第1回能研テスト。(43年まで)
38・12・15	創立70周年記念式挙行。
39・3・31	本館北棟4階増築(教室7、便所2)竣工。急増第2期工事。
39・9・10	課外授業開始。(44年まで)



# 躍進する高松高校

## 香川県立高松高等学校沿革

年・月・日	沿革
昭和	
40・1・20	本館西館4階増築。急増第3期工事。
40・3・30	本館中棟屋上に金網、東鉄棒、中庭バドミントンコート設置。
40・4・10	全日制生徒数ピーク2805人。県下一斉テスト(英・数・国・理)始まる。
40・8・31	三元放送設備、用務員室、理科準備室(薬品)、食堂調理室完成。運動場トラック整備。
41・4・30	校内緑化第1期工事(運動場周辺)完了。
41・6・30	中棟9教室に天井扇取付。
43・3・30	食堂棟塔屋(4階つなぎ)20㎡、生物教室の施設設備完了。
43・4・1	理数科(定員46)新設。(54年卒まで)この年学園紛争始まる。
44・9・30	4階視聴覚教室に改造。
45・4・30	新館1階を保健室に改造。
45・11・20	第21回全国放送教育研究会全国大会。
46・9・30	生物第2教室、地学教室完成。
47・4	47代生徒会が「白書」を発行。
48・9・30	第2視聴覚教室(L、L)新設。
48・10	オイルショック
48・11・17	創立80周年記念式挙行。
48・12・24	騒音対策として北棟、東棟20教室に拡声装置取付。
49・6	父兄懇談会。(進学、就職懇談会に代る。)(以後11、1月)この年全国高校進学率90%をこす。
49・9・30	バドミントンコート舗装、中庭花壇、噴水、北塀と花壇植樹、第2グラウンド防球網取付。
52・4	学区外入学制廃止。
54・1	第1回全国共通1次試験。
56・7・24	玉翠会校舎改築推進委員会発足。
56・7・25	PTA校舎改築推進委員会発足。
56・12・9	玉翠会代議員会において①現在地で全面改築する、②校舎は高層化する、の2点について運動方針が決まる。
57・2・10	定例県議会において、高松高校校舎改築の調査費が計上される。
58・11・5	創立90周年記念式挙行。
58・11・5	本校創立90周年記念式典を行う。日本建築学会製作による香川県立高松高等学校全面改築の模型を展示す。
61・10・18	体育館の起工式を行う。
63・1・14	新体育館落成式。



中庭の「くすの木」



運動場、左が新体育館

### 卒業生数(昭和62年3月)

1. 高松中学	6,643名
2. 高松高女	6,836名
3. 高松高校全日制	22,599名
4. 高松高校併設中学校	1,316名
5. 高松高校定時制(本校)	1,242名
6. 高松高校定時制直島分校	297名
7. 高松高校通信制	1,407名
計	40,340名

## どおっしょんな

### 卒業生からの近況ミニレター

○:「どおっしょんな」とは、まことになつたかしいさめきのことば。思わずハッといたしました。私は、昭和二十六年に上京。運命のめぐりあわせで埼玉県志木市に家を建て、ずっとこちらでくらしながら、児童文学作家としてやっております。われわれ古い連中は、高松が高校となり、さらにワンのニックネームで呼んでいた奥女といっしょになった現在、やはり淋しさを禁じえませんが、時代が移ってきたということでしょう。いい仕事を書き続けていきたいと思っています。ご盛会をいります。

(香川 茂 十三年卒 児童文学作家)

○:五十七歳で自衛隊中央病院を定年退職。以後、日本アイ・ビー・エムのメディカルディレクターとして現在にいたっています。ただし、週二回は、三宿病院も内科外来を担当しています。わが家は、今は老妻と二人暮らし。映画はシルバー券をフルに利用して、しばしば見えますし、歌舞伎も未だに立見に通っていますが、さすがに階段を一気に昇れなくなりました。将棋はものすごく弱い三段、「寝床」さながらの他人迷惑な清元ですが、この二つが、今の私の人生です。

(太田 怜 十四年卒 日本アイビーエムメディカルディレクター)

○:「東京シティ・バレエ団」創立二十周年公演。レオ・ドリーブ曲、「コッペリア」二幕三場。六月十一日(土)六時、六月十二日(日)一時。東京文化会館大ホール 演出有島五郎 (有島五郎 十六年卒 演出家)

○:昭和六十年三月、香川県立高松第一高等学校教頭を最後に定年退職し、三十年余のデモンカ先生の生活を終了致しました。

縁あって、同年四月から高宮学園代々木ゼミナールにおいて、数学科講師となり、四年目を迎えます。

今年(週四日、大船校、横浜校、立川校、仙台校)と出講し、六十四才の若さ? で高中スピリットを発揮しております。

在京の高宮同窓会の仲間に入れて頂いて光栄です。今後共に宜しくお願い申し上げます。

(猪熊正雄 十七年卒 高宮学園代々木ゼミナール)

○:「どおっしょんな」という素朴で純真な響きを持つ呼びかけで、忘れがちな玉藻の浦に思いを馳せない人はいないでしょう。中学という一合目時代の同窓諸兄の多くが東京に住み、十合目にさしかかった現在も、毎年欠かさず正月には麻布十番にある讃岐会館で「どおっしょんな」と、一期一会を喜びあう。ほんとに素晴らしい。神に感謝し、ご先祖に感

謝し、家族に感謝し、そして諸先輩、竹馬の友に思いを馳せながら、未知に向かって今日も挑戦しています。

(金瀬謙一郎 十七年卒 (株)ダイエー)

○:仕事↓政治評論家としてテレビ・ラジオへの出演、新聞、雑誌等への寄稿、全国各地講演会出席などで大忙しです。

趣味↓少し太めのため、スポーツ、とりわけゴルフ、水泳に励んでいます。ゴルフはハデ十四。酒、読書は趣味ではなく、商売柄から、むしろ仕事の一部分と心得ています。

(久保文男 十八年卒 総合情勢研究会)

○:五年半程前に三菱電機から赤井電機に移り、主に技術生産面を担当して来ましたが、為替レートの激変への対応、本来の体質強化等から海外生産へのシフト強化、拡大と忙しい日々です。然し、昨秋は秋深いパリを一日楽しみ、今春は「風と共に去りぬ」を憶いながら、米国南部のアトランタ近郊を半日巡ったりと云うことも、出張の合間には時折あり心がリフレッシュされます。還暦も過ぎ、これからの自分自身の人生を、若く自由闊達に過ごしたいと願望する今日この頃です。

(松村長延 十九年卒 (株)赤井電機)

○:三十五年間の地下鉄作りから足を洗ったのが昨年五月。モグラ稼業からハトポッポに



なり、ファウストのように青春を取り戻しました。一緒に行く人いませんか。ところが、近所に兄（二十七年卒＝醇治）がいて、会う度「ええ年して無茶じゃ。死んでしまっぞ」と目玉を十センチも飛び出してお説教するのへき易しています。いつまでたっても、高の先生、先輩に頭上がりません。

（久保敬 二十九年卒 山口新聞局）  
○：電通でアートディレクションをやりながら、趣味で油絵、現代の浮世絵を目ざして、美貌録シリーズを始め、今回で十番、吉永小百合を描いて個展中です。場所は旧電通（外堀通り銀座六丁目）の隣り「ギャラリーねこ」。期間は六月二十日から三十日迄。  
お問い合わせは（五七四一七七〇七〇八）へどうぞ。

（鈴木八朗 三十年卒 電通）  
○：関東弁にまくしたてられ、あわただしい毎日を通して、ふるさとの「どおっしょんな」の言葉の響きが懐かしく思われました。  
埼玉銀行に勤務し、二十数年が過ぎましたが、いよいよ銀行界も自由化競争に突入し、日々業務推進に追われている次第です。そんな毎日ですが、この一、二年前から趣味程度の菜園を始めました。わずかの面積で

はありますが、自然と戯れる喜びを知ったのは歳のせい、はたまた愛情をかければ素直に伝えてくれるとおしさのせいからなのでしょうか。

（赤谷康弘 三十四年卒 埼玉銀行）  
○：日本板硝子というガラスメーカーに入社したが、殆んどコンピュータ関係の仕事一途に二十年たった。神戸、大阪、舞鶴と次第に北上し、五年前に東京転勤となり、西武球場の近くに居を構えた。

同級生の鶴尾勝君も同じ会社で同じフロアで近くに机を並べている。  
スポーツを趣味とし、バレーボール↓テニス↓ゴルフと年齢にふさわしい種目で良い汗とビールを楽しんでいる。  
（河瀬俊彦 三十六年卒 日本板硝子）  
○：ここ柏に住みついてもう十年、今では町内会長を務めて頑張っています。  
ささやかなデザイン事務所を都内に構え、世の女性に負けず、キャリアアウーマンをやっています。

（高山公子 旧姓・壺井 四十年卒）  
○：昨年七月、外信部に異動、国際ニュースを担当しています。いざ海外特派員として赴任の予定です。今年三月には、日本と国交のないカンボジア共和国取材しました。

## どおっしょんな

## どおっしょんな

転進して、現在、都内定期観光の係はとバスの監査役とは、我ながらビックリしています。これ迄とは違って、多少はノンビリできるのを幸いに、家内を連れてバンクーバーへ、シドニーへとシルバー旅行。キッチン付ホテルやコンドミニアムに二、三週間腰を据えて滞在する魅力にとりつかれているこの頃です。

（三好迪男 二十年卒 はとバス監査役）  
○：還暦を目前に控え、のんびり暮らしています。三十年を超えるマスコミ生活も、過ぎてみると、ひと瞬き。朝鮮戦争の余燼から安保騒動、万博、ベトナム戦争等々。内閣も政治部駆け出しの岸内閣から始まり、今は当時初当選の竹下氏が宰相と、アツという間の移り変わりでした。神戸支局長時代は、グリコ・森永事件、山口組抗争に振り回され、ようやく一息入れているところです。

（諏訪 賢 二十二年卒 共同通信社整理部長）  
○：就職上京以来、帰省のたびになつかしく眺めた玉藻城の姿は見え、今夏は車窓から讃岐富士を見てのお国入り。次第に大きくなってゆく高松の街を目で追いながら、青春の日の一コマ、一コマや、なつかしい友人たちの面影をしっかりと思い起こさせてくれた連絡船、一時間の旅はほんとうに良かったなあ。

八十四年に学陽書房から出版した『犯罪報道の犯罪』が、昨年、講談社文庫（四八〇円）に入りました。また、七月には『犯罪報道と警察』（三一書房 新書版）を出版しました。

編著『スパイ防止法がやってきた』（社会評論社）も出しました。このほか『死刑因からあなたへ』（インパクト出版会）、『テロリズムとジャーナリズムの危機』（エスエル出版会）にも、法学セミナー増刊『人権と報道を考える』（日本評論社）にも書きました。何冊かまとまれば二割引きで出版社から送料無料で送りますのでよろしくお願ひします。趣味のテニスは、軟式時代も含め、もう二十七年目に入りました。

（浅野建一 四十三年卒 共同通信記者）  
○：骨や筋肉・脂肪等に発生する悪性腫瘍（肉腫）の治療を行なっています。以前は四肢の切断しかなかったのですが、最近では化学療法や手術法の進歩により、大部分の患者さんの手足を残してあげられる様になりました。今後の課題は、転移を防止すること、根治的に手術した手足の機能をより向上させる事と思われまます。（趣味）ゴルフH・C二十・スキー  
（真鍋 淳 四十五年卒 働癌研究会付属病院整形外科）

## 卒業生からの近況ミニレター

## 卒業生からの近況ミニレター

（頸草書房刊）  
（高城 真 二十九年卒 東京電力原子力研究所長）  
○：去年十一月に「ルイジアナの空の下」という本を自費出版しました。昭和三十六年から二年間のアメリカ体操留学の思い出を、日記を元に一冊にまとめました。是非、若い人に読んで頂きたいと願っております。出版を機に、この三月、二十五年振りに母校と友人を訪ねて来ました。

サラダ記念日の影響で目下、短歌にかぶれております。五十路を過ぎると身体にガタが来ます。お互い身体に気を付けましょう。  
（新谷鈴子 旧姓 関 二十九年卒 日本体育大学教授）  
○：山口新聞局の天気情報の仕事をしていきます。わたしが去年この仕事を担当してから、専ら晴れの日が多く、水不足の心配がニュースになります。理由は簡単。私が晴マークだからです。え！ わからない？ あなたは私に面識がない方ですね。お目にかければたちどころに「OH!ー I SEE」です。今、ジョギングに夢中です。去年暮れには「ハワイ・ホノルルマラソン」を完走しました。今年暮れは「ニューヨークマラソン」を目指しています。単身赴任の無りよう対策が本気に



て、その研究発表を九州の大部分でやったら、東京でもやれと招かれたが、それは断った。主体と相手との話し合いの正しい技術は、民主主義教育の基本だが、受験体制とは矛盾する。(その上アメリカの猿真似だったらしい)ので大した実を結ばずに終わった。民主主義や個性尊重を上から説くのは、善意のつもりでも、結局は詐欺行為に終るのが必然である。あの汚いベトナム戦争のつづく間、ぼくはアメリカを憎みつづけたら、自分が胃潰瘍になってしまった。

ぼくは昭和十二年、学生生活を終ってまもなく応召、二十一年復員するまで、途中一年休んだほかは反抗癖のある一兵卒(重機関銃手)ですごした。そのうちソ満国境の二年とビルマ仏印の五年近くは(後者では戦友の八十%を失う)現地の子供と仲良しになり、ビルマでは英印・米軍と戦いながらビルマ人の素晴らしい一体感を体験した。敗戦後の半年あまりの南ベトナムでは、すごく大切にしてみらったのである。

ぼくの民主主義はその地点から抑圧者を突きあげる自前のもので、米・ソなどから押し売りされたり学んだりしたあちら製の理念ではなかった。

さて、物理の岡田君はひょうきんで心のキレイな男で、ぼくは、かれが大好きだったが職員会議ではいつもケンカした。

諸君、お元気ですか？  
大高君から何か書けといわれたが、ぼくはもう何もかもモローとしていた。でもアルバムにならんだ諸君の若々しい姿と、一癖ある顔を見ていると、少しづつ昔を思い出す。二年生のときT君が生徒会長になって、K校長を批判したことがある。当時は教育界が右廻りして、その圧力を校長が和げず、むしろヒステリックに生徒、教師に押しつけたのに対して、かれの正義感がバクハツしていたのだ。

また秋芳洞への修学旅行中に、明らかに恋人同士と分る生徒が、二人くっついて歩きながら喧嘩中らしいのを、コンチクショウと思う一方で、早く仲直りすればいいのに、と心配したのを、なぜかはっきりと覚えている。三年生のとき、受験でいそがしい諸君を「文楽教室」につれて行ったのを、覚えている人あるかしら？

ぼくが高高につとめたのは昭和二十四年で、二十六年卒、二十九年卒はよく知っているが、

かれは進学主任として受験体制づくりの責任者で、ぼくはその反対者だった。へたに体制化せず、ふつうの授業で個人の力を伸ばすのに全力をつくせば十分だと主張した。〈設問と解答〉を重ねる仕方でも、数・理は傷つかず、社・英も追従できようが、現代国語や作文などは、主体的な読みをふかめるのが大切で、模試を繰り返すのはムダだからご免こうむる。精神活力を高めるには自主的学習がよいのは教育の基本だ。それを忘れて模試で世間体をつくり、受験産業に奉仕する怠慢は教師のグダ、犯罪に近いというわけだ。

「あんたはほんまに阿呆や！世間の方が間違ってるかも知れんけど、あんた一人であろう？」と岡田君は、二人で飲んでいるとぼくに向かって呆れ顔をした。「でも、あんたのお陰でわしも暴走せずにすむこともあるけど」とも言った。ぼくにも賛同者はあったが、三年四組には大男のK君と長身のW君がいた。その二人が十年ほど前、ぼくの所へ訪ねてきて、K君がバリへ出張するのだという。

W君の方は香大の仏文教授になっている。そういうえば新聞部のK君も仏文に進学した。昭和初年のフランス熱(映画・詩・絵)が戦争をへだててそのまま蘇った感があった。

それがここ数年、急に下火になったのはなぜだろう？経済力武力をバックにアメリカ語がひろまり、欲呆けた若者たちが自分の

みんなワルイ奴だった。着任してすぐに三階の新聞部室へ行ったら、部長のSが、顧問など要らん、ぼくらは自治会費をもらわず自前で刊行し、学校批判の自由を確保するんだと言った。次代のKは、上級生が下級生を掴るところを詳細な記事にして、対応のぬるい学校当局を正面から叩いた。

第一回文化祭も生徒がやって、ぜんざい用の貴重な砂糖を自分で仕入れ、その盗難防止の夜廻りもする。第一日が終わった夜、会計係の男子が家へ電話して、売り上げが大金になって心配だから、母ちゃんあずかりに来て！と母親にたのんでいる。

幼い癖に意外な力を発揮するこのワルがきども。ぼくはかれらへの外圧を防ぎ、仲間われを仲裁し、失敗の後始末をしていれればいい。ちよっと面倒だが、兵隊上りのぼくも生徒に負けぬワルで通した。

ところが三〇年頃からその「自由と自治」の反動がきた。生徒自治会は生徒会に、新聞発行者は生徒名から教頭名に変更を命じられ

感性を放棄する例は日本以外にもありそうだが、そして日本語も流行する！この浅き夢から早くさめるのは、もしかしたらアメリカの若者かもしれないと思う。

高高には二十五年間つとめた。退職後はO君の経営する予備校と香大の非常勤をつとめ、七十一歳で完全フリーになった。そして去年はビルマを四十余年ぶりに訪ねて、あの国のすばらしさを再確認した。戦争と平和を考えさせる大問題なので近く本にでも書こう。

去年、『桃青の詩的生涯』(勁草書房)を出して、芭蕉の想像力をぼくに直に見直した傑作だと自分では思うが、世間の評価は反対かも知れん。ほかに仲間とウイリアムズの訳を十冊あまり続刊中である。ウイリアムズはホイットマンを継承、発展させたアメリカの大詩人で、自国の権力主義を批判し、アメリカ語を真に詩語に高めたその芸術には共鳴することが多いので、死ぬまでつき合うことになりそうだと、言っても、もう先は知れている。諸君はいま正に人生の充実期。迷いもあるうが、これから先すくなくとも三十年は、家族をまもりながら、戦争と平和にゆれる世界をうごかしてゆく第一線に立つ人間だ。ご自愛とご健闘を心から祈る。

老人の世迷いごとを辛抱して聞いてくださって、Thank you! 三九卒の諸君。

一九八八・四・二八



## 昭三九卒の諸君へ

草薙正典 ●(昭和二十四年、昭和四十九年 国語科)

た。三十一年から教委が公選から官選へと保守党による教育の虐殺がはじまり、三十二年教師の勤務評定による選別がはじまり、高校生の一斉テストによる選別へとつづく。

その三十二年、ぼくは肺結核が再発して入院、肺切除。三十四年に学校にもどったら、右廻りが進んで安定していた！もう教師は廃業したいが、病後の四十男、妻子にメシを食わせねばならぬ。で、前からの「作詩」と「英詩の会」の二つのグループの世話に専心して教師は副業ということにする。(相棒の葉原君がイヤ気をおこして青森の私大へ逃げ、ぼく一人になったが)

こうした反動化にはアメリカの戦略転換がからんでいた。三十四、五年の学生の安保闘争は庄殺され、三十六年自衛隊の強化、三十八年高校生の能検テストが始まる。三十九年にはアメリカのベトナム侵略という具合だ。諸君が高校生だった頃の話である。

ただ、この三十七年ごろ文部省が「話し言葉」重視をとえだした。ぼくもつい協力し



ぎ帰った事でございます。

あの頃の海の交通量が今と比べられない程のんびりしていたから出来た事と、つくづく思われます。朝、大的場から小船に乗って女木島に渡り、その浜辺でお弁当を食べ、ゆっくり休んでからいっせいに海に入り（その頃男女が一緒に競技する事など全くなかった時代に、遠泳だけは別でした）各学校がそれぞれ先生の乗られた船に小旗を飾り、どんどんと太鼓をたたき（これは鱧を寄せ付けない為とか聞かされていましたが）何艘もの船の列に生徒は守られながら大的場へ向って泳ぎ出しました。その遠泳では、先頭の男子が到着すると浜で花火を上げる事になっていました。

その日は、高中の人が先頭集団だったように思いますが、私共女学生グループがその花火の音を聞いたのは、未だ行程の半ばで、大的場ははるか遠くに見えた事を思い出します。海中を見ますと、藻がもやもやと生えていたり、泳いでいるすぐ前を飛び魚がはねたり……実にのんびりと泳いだものでした。

先頭の到着時刻から計って、潮の流れを考えての遠泳でしたのに、思いの外遅れがひどく、その内、潮の流れが変わりかけ、屋島方面へ流されはじめ、泳げど泳げど進みはのろく、やっとの事で大的場に泳ぎ着いた時は、折からの夕風になっていて浜で大勢の人が待っている砂浜に、へたへたと座りこんだ事がはつきりと思い出されます。

雀百まで……の諺ですが、この齢になった今も、水泳は楽しみに続け、たまたま近くに温水プールがありますので一年中泳いでいます。年齢別のマスターズの会から毎年試合に出で、リレーでは飛び込みもしたりしますが、もうそろそろやめる様にしなくてはと考えています。これも大的場で真っ黒になって泳いだお陰と、懐かしさは頭から離れません。

先年高松へ帰りました折、弟が大的場を見たいでしょうと連れて行ってくれましたが、昔の面影は全くなって、淋しい思いを致しました。

ずっと前になりますが、私の大切に思っている瀬戸内海が、赤潮や油に汚された新聞記

事を見てたまらなくなり、日記に一首書きました。

赤潮に油にかくも汚されし

瀬戸内悲し去にし日還へらず  
夕風の鏡の如き海に向ひ

遠泳の吾を待ちし母はと

（先頭到着の花火を聞いた後、あまりに娘の帰りが遅く、案じた母が大的場へ駆けつけたとか）。昔を懐かしがってばかりいまして、老齢化により、便利な空路を利用するようになりましたが、これからは、瀬戸大橋にお世話になる事でしょう。

手なる地図見比べ見下海岸線

今伊勢湾上と機内放送

かたわらの夫の指さす雲間より

地上はるかに青し浜名湖

地上はるかに青し浜名湖

## 寄稿



# 瀬戸大橋と夕風と

佐伯綾子(旧姓佐藤)●昭和五年・高女卒

この度、晩翠会の幹事の方からの御依頼があり、その分でない事を申しお断り申しましたが、何でも一寸思い出でもとのお話に、つい乗せられペンを取る事になりました。

思えば昭和五年の卒業と言えば、六十年近い年が過ぎていますが、戦後の不自由な時代に幼な児を抱え、よくも生き延びたものと振り返って、感慨ひとしおのものがございます。月日の過ぎ行きがあつという間の様に思えますのは、私共が知らぬ間にそれだけ齢を取っている証拠と、つくづく思い知らされている事でございます。

たまたま四月十日の今日は、瀬戸大橋開通の祝典日。その様子が、テレビで放映されていますのをくいく入る様な目で眺めました。

日本の世界に誇れる最高の技術の粋を集めて、十余年の歳月と巨額の経費、それに優秀

な人材のお陰で、現代日本の力を思い知らされる大事業が美事に完遂されたこの瀬戸大橋を眺め、テレビを見つつ、思わず臉の熱くなるのをおさえる事が出来ませんでした。

お目出たい開通祝賀の式典と、それに続いて次々と映し出される大橋の偉容、その橋の周囲の瀬戸の島々の景色は、讃岐に育ち県外に住む者にとりましては、自然に連絡船につながり、大橋開通によって廃止となるそちらの方の思いもありまして、その日の感情は誠に複雑で、吾と我が心の内より湧き出でる懐かしさを抑える事が出来ませず、移り行く世相を静かに受け止めて、テレビに見入っていました。

思えば懐旧の念ばかり浮かびますのは、明治、大正のはざまに生れた者には致し方のない思いと、若い世代の方々にはお許しを頂き

とうございます。この瀬戸大橋の開通の話を、今、私の住む横浜のお友達は、四国出身の私にごく自然にお祝の言葉をかけて下さいます。が、私共にとりましては、廃止された連絡船には一時間近くかかって渡った思い出があり、島々を眺めつつ次第に近づく高松の棧橋や、近づく屋島を見ながら、ふるさとに帰り着く安堵感と船内の高松弁の思いがある限り、懐かしさは数えきれず、便利さを喜ぶ気持ちの中に色々の思いがこもり、思わずあふれた涙をあとで静かにぬぐった事でした。

個人的な事で恐縮でございますが、瀬戸内海といえば私には忘れられない思い出として、女学校の四、五年の頃、海水浴の行事として遠泳が行われ、（もともと、日焼けを嫌い、上級生になると泳ぐ人は少なくなるのです）女木島や屋島の長崎の鼻から大的場へ泳



と戦っているであろう。

山の中腹の彼方、建長寺僧堂は寂として静まりかえり、一人の影もみせず、所在するなりと想像するだけで、早速、薄暗い玄関の低い式台に旅装のまま低頭して始まる五日間の庭詰・旦過詰の苦業を思い、恐らくは心乱れて足元はおぼつかない状態であつたらう。志をたてて初めて、この禅の本場を目前にすれば、大昔より何人たりとも門戸を開放するものであるとはされながら、もし、悲願をたててその奥へ入ろうとする者には一つの入門資格が要求される。それは、一人前の禅僧になるためには宗門の掟として僧堂での体験が必須条件であつた。

これまでに師匠、先輩の口からこまごまとは伝え聞いた僧堂の知識は、いわゆるその入門試験たるや、現代では後ずさりにも等しい浮世ばなれをしていたし、しかも、多少とも民主化されたとは聞くものの、大昔から微々とも変わらず守られ受け継がれてきているのである。

なぜ、そんなにも厳しい修業僧の道を選んだかと、もし、尋ねたらば、彼等は実に寡黙であり、それが禅僧への唯一つの登龍門であ

るからとしか、答えは返してこないだろう。

昨夜、浮世での最後の薬石と風呂とを十二分にふるまわれた新到は只ひとり、本堂奥の百畳敷の大広間の片隅でせんべいぶとんにくするまり、さぞかし眠れぬ一夜を明かしたに違いないあるまい。

本山に勤務するようになり、新到入門の早朝は、僧堂の入口に当る表参道の下まで同道するのが私のつとめのように、何時もそっと裏口から走り出た。

「……皆がとおった道じゃからのう我慢せいでよ」

「これをすまさねば坊さまにはどうしてもなれんのじゃから」

下を向いて歩く後ろ姿に、付き添いの二名が囁く。表参道からは、もう一人で登らねばならぬ。

「心配しないでね。頑張りなさいよ」

私が小声で言うのと深々と頭を下げ、そのまま決心したように一段一段と踏みしめるように登り始めた。

「奥さん、有難う存じました。私共は僧堂へは行けませんので、これよりまっすぐ自坊へ戻ります。何卒以後、よろしくお願いします」

その時であつた。

表参道を登りつめた青年が、チラリと僧堂入口の門を前にして下を振り向いた。未練の顔であつた。

「まっすぐはいれえー、まっすぐだあ」

老僧は手を大きく振り、声を振り絞った。

同時に青年は入口に走り込んだ。

「ああ……」

老人等は絶句した。私は両手を合わせ、全身の力が抜けていくようで、地に跪いて一心に祈った。祈り続けた。

振り返ると、まだ明け切らぬ大本山の境内に亭亭とそびゆる古木の柏檜が、何事もなかったように大空に浮び上って見えた。

後記

新到：修業僧として入って半年間こうよぶ。

自坊：自分の出身寺

庭詰：僧堂の玄関で式台に旅装のまま、二

日間低頭して入門を乞う。

旦過詰：三日目より狭い個室に幽閉の形で

放置され、無言で坐る。まさに座

敷牢。

持鉢：碗など一そろい。

## 寄稿



兼元春子 ●昭和十六年・高女卒

# 僧堂へ上る日のあさ

修業僧として専門道場へ入門を希望する者は、その前夜、僧堂のある本山の一隅に一泊を乞い、翌早朝、出発し、山上の僧堂に上り、入門の厳しいテストを受ける。

忘れもしない五十九年三月の下旬、前年末より降り続いた雪は、降りみ降らずみを繰り返して、やがて桜の春を目前にいまだ、境内を埋めた寒さの厳しい朝であつた。

建長寺玄関に立った新到は、丁寧に頭を下げてあいさつをしながら、百八十センチに余る身体を小刻みに震わせていた。

広い三和土をコの字に囲んだ土間を前に、総長、部長、寺男、そして、この私と四人が無言で今まさに僧堂へ上らんとする青年を見つめていた。

玄関の大きいガラス戸越しに見える昨年末来の雪が、六時半入山の制限を非情なまでに白くみせていた。

「中央大学二年で……お世話になります」

私の質問に新到は色白の頬を赤く染めてこう答えた。東京にある大寺の跡取りと聞いた。

檀家総代らしい老人が三和土に立つ青年の姿に近づいて今ひとたびと初めて僧堂へ上る旅装に寸分の間違いが無いだろうかと、こまごま確認しながらしきりに世話をやいた。

この日まで恐らくは自坊で教知れず繰り返したであろう雲水独特の旅装である。

薄ねずみ色の単衣の上に、紺木綿の衣を重ね、太い紐で腰の上をきりと締め、白脚絆、白足袋、首に頭陀袋、太紐で振り分けにした袈裟分庫（内には麻袈裟、日用品、持鉢、経本、剃髪用具）を前側に、雨合羽、白衣の風呂敷つつみを後づけに引っかけ、網代笠を手にして、はきなれぬ草履ばき。

これが僧堂へ上るあさの、大昔から決められた旅装であつた。

控えていた祖父らしき品のよい老僧が、新到の肩の荷を整え、ちりを払った。土間の上も無言である。草履が気にかかるのか、しきりにひもを気にしている。

「……と厳肅な空気が流れたとき「心配するな、元気で行けよ」

総長さんが、用意万端の整った雲水僧の旅立ち姿に優しく声をかけた。背の高い新到は、深々と腰まで折って無言で頭を下げた。

剃髪したばかりの青い頭が痛々しかった。重い玄関の戸を開くと、小雪を含んだ風が流れこみ、付き添う老人二名も又、深々と頭を下げた。

それが出発のあいさつである。玄関から表庭の石段を降りた新到は、境内の中央に直線に敷いた、三枚つつ石を寄せた広い敷石の上を、これから刻限前まで確実に僧堂へ入らねばならない。不安と心細さに必死になり、己



である。香川県立高松高女(現在の高松高校)一年二組、和田とよ先生のクラス。昭和十七年春、四番丁国民学校から入学した。彼女が昭和五十六年八月二十二日、台湾上空で飛行機事故のため亡くなったことを知った時は口もきけないほどのショックだった。すぐれた職人芸を見るような鮮やかな筆づかい、その中に彼女独特のきめ細かなあたたかさが見出ている多くの作品。今後も大いに広がっていくはずであった向田文学の世界が、あまりにも唐突に断ち切られたことがいくら歯ざりしても足りないほど悔しかった。

そして、もう一つ、わたしたち同級生にとつて歯ざりする思いであったのは、友人として一度も彼女を高松へ迎えることなく、永遠にその機会を失ってしまったことである。向田さんは、お父さんが保険会社の支店長をしていたせいで、小学校だけでも四回、転校している。高松へは五年生の時、鹿児島から移ってきた。だが高松高女一年生の一学期末には、もう東京の目黒高女へ転校。何ともあわただしい学校生活である。こんな短い期間であったにもかかわらず、向田さんは級友たちに非常に鮮明な印象を植えつけていった。ある歴史の時間、「聖徳太子は十人の訴えを一度に聞き分けたほどの頭脳の持主であった」と教師から聞かされた。向田さんは「政

治をする人が十人の訴えを一度に聞かなければならぬなんて、世の中そのものが乱れていたんじゃないか、と思います」といった。のちの彼女の作品に見られるシャープな切れ味、率直で気どりのない表現が十三歳のこの時期にもう片鱗をのぞかせていて、いかにもおもしろく今でも級友たちの語り草である。

向田さん自身も、その作品には高松の思い出をよく取り上げている。エッセイ『わが拾遺集』には、運動場で鉢巻を拾い、その落とし主の上級生から「お礼に唇の横のうぶ毛の中の黒い剛毛を抜かせてあげる」と妙なことをいわれてどぎまぎした話がある。「足洗いの横の遊動円木がだれかがはずみをつけて下りたのか、人ものっていないのに揺れていた」とわたしにもなつかしい風景が再現されている。思春期の日の、もの悲しいような春の夕ぐれが思い出されて胸の奥がうづくような気がする。

そのほか『隣の匂い』にも『魚の目は涙』にも『身体髪膚』にも高松のころの話はいっぱい出てくる。

「人の一生のうち、十代から二十代前半にかけての記憶がもっとも鮮明に残るものだ」と聞いたことがある。子供から大人へ。青春前期のきらきら輝くような日々は一つ一つが宝石のように散りばめられて心の奥深く定着するのだろうか。転々と移り住んだ多くの土地

の中で、高松に格別深く「ふるさと意識」を抱いていたらしい向田さんに、わたしはいっそうそれを感じる。それだけに早逝がなおのこと悔やまれてならないのである。

ふるさととは人の心の奥にある追憶の世界だとわたしには思えてならない。水のように流れていく月日の中で、人々はいつの世もふるさとを想い、いとおしみ、そしてそこから現実への勇気をふるい起こして生きていくのかも知れない。

デイリースポーツ紙に帰来さんはしばしば随筆を発表しているが、次のようなことが書かれていた。

向田さんは級友たちに、頭の切れのいい、明るい雄弁家、その上非常に親しみやすい人という印象をあざやかに残して行ってくれました。

その後、彼女の活躍ぶりのすべてを私たちは自分のことのように見守ってきたのです。彼女に何度も会ってきた級友もいますし、高松での日々を書いた彼女のエッセーに共感を抱き、みんなで青春の日々を回顧したこともしばしばでした。……………

色の黒い、目立たない少女であった「向田さん」の活躍に、ふるさとの友人たちは、みんなで精いっぱい声援を送っていたのに……………

## 寄稿

# 向田邦子さんの女学生時代をしのぶ

藤井 勲 ●昭和十六年・高中学



向田邦子さんは、桜の名所ともなった多磨霊園に眠っている。その墓には

花ひらき 花香る

花こぼれ なお薫る

と、森繁久弥氏の言葉が刻まれている。

今なお墓参者が絶えず、墓前にはいつも美しい花が供えられているという。

私たち玉翠会会員の中には、彼女の女学生時代をしのんでいる方は多いと思うが、岩井宏之氏(昭和22年高中学卒)と帰来富士子さん(昭和21年高中学卒)もその一人である。

岩井宏之氏とのひと



向田邦子さんの『父の詫び状』(文藝春秋)の中の『昔カレー』には、次のようなことが書かれている。

「この家には私のほかにもう一人、中学一年の下宿人がいた。小豆島の大きな葉屋の息子で、そうだ、たしか岩井さんといった。色白細面のひょうきんな男の子だった。……………長男だと聞いたが、家業を継いだのだろうか。少年の大病を貰って芸者を奥さんにしたかど

うか。あれ以来消息も知らないが、妙になつかしい。」

昭和五十六年九月二日付の朝日新聞夕刊は岩井さんの近況について次のように報じていた。

台湾の航空機事故で亡くなった向田邦子さんのエッセー集『父の詫び状』に「彼は『オレは絶対に向田なんかもらってやらんからなあ』と何度も言っていた」として登場した岩井宏之さんは、四十年後のいま、瀬戸内海の小豆島(香川県)で薬局を経営。「一度、この島で講演会でも開いてもらえたら、と思っていたのに……………」

向田さんが旧制高松高女、岩井さんが旧制高松中学時代、同じ下宿にいた。「それにしても、あの女学生が、あんなに有名になっていたとは」

帰来富士子さんの文より



第二十二回香川菊池寛賞は、高松市の帰来富士子さんの中編小説『寒の紅』に決り、昨年、菊池先生の命日に当たる

三月六日、高松市役所で授賞式が行われた。それに先立つ三月五日、朝七時から日本テレビの「ズームイン!!朝!」で中央公園の菊池先生の銅像前から、帰来さんの喜びの受賞インタビューが全国に放送された。

また、県女時代の友人たちは、この受賞をわがことのように喜び、祝賀会を催してくれ、帰来さん感激させた。通信記念日の昨年四月二十日には高松郵便局の一日局長を務めた。帰来さんは、フリーライターとして活躍、「ずいひつ遍路宿」「俳誌かつらぎ」の同人で、五十一年には「ずいひつ遍路宿賞」を受けている。

昭和六十年九月、四国新聞社発行の『月曜随想第二集』に「向田さんの高松」を発表しているが、その抜粋を紹介しよう。

時々、女学校時代の友人たちが集まる。そんな時には、北海道や東京や九州から飛行機列車を乗り継いで続々とみんなやってくる。「ふるさと」を語りやってくる。

ドラマ作家であり直木賞作家でもあった向田邦子さん。彼女もわたしたち同級生の一人





# 他郷苦辛多し

西村秀俊 ●昭和二十九年・高卒

讃岐で生まれ育ったということは、かなり厄介なのである。

大学へ入るために上京し、そのまま新聞記者になって、三十有余年。ほとんどを関東平野で暮らしてきたが、どちらを向いても山が見えない場所にいることに、いまだになじめない。いかなれば、平所不安症である。では、信州の安曇野のように山に囲まれていればいいかというところ、これも落ち着かない。アルプス連峰では高すぎる。高松で紫雲山や屋島、観音寺で琴弾山や七宝山、雲辺寺山の、優しい稜線に守られながら育ったためである。

海についても、同様だ。水平線まで広がる雄大な風景にも、それなりの良さはある。しかし、やはり瀬戸内海にまさる海的美しさは日本のどこへ行ってもない。芭蕉翁と宮城県民には悪いが、松島なんか何で日本三景なのかと思ってしまう。日本三名園のほうも、栗林公園を自分の庭のようにして育った者には、どこの世間知らずが決めたのかと、しらけるばかりだ。考えてみれば、損な話である。

せつかく名のある観光地へ出かけながら、讃岐をふるさとに持つばかりに、他の土地に育った人ほど感動することができない。

食べ物、また厄介である。うどんについては、いまさらいうまでもない。最近、東北某県のうどんを妙にありがたがる向きがあるので、現地へ行った際こころみてみたが、少なくとも私は途中で箸を置いた。握り寿司がすしを代表し、揚げ物が天麩羅を僭称して罷り通っていることへの違和感も、非常に強い。どちらも食品としては十分認めるに値するのにな、どこか贗物をたばせられてる気分があつて、素直に「うまい！」といえない。一方で、春になると、イカナゴが食べられないのが悲しくて、「東京なんか生きてしまつて、おれの人生は間違いだつた」と叫びたくなつたりもする。他郷に出た讃岐生まれには、人知れず苦辛ひとしお多いのである。

〈朝日新聞論説委員〉

―香川県広報より転載―

首都圏唯一の郷土情報誌を推せんします

## 讃岐公論

発行所 東京都江東区辰巳2-5-1-1102  
讃岐公論社 (TEL 03-522-0826)  
社主 村尾 薫 (高中28回卒)  
定価400円 (半年分2,500円 1年分5,000円 送料共)

本誌は創刊60年を超える伝統ある郷土月刊誌です。殊に「香川県だより」は、同窓生はじめ購読者の間で大変好評です。ご存知ない方は是非ご一読を!!

東京玉翠会有志一同

## 寄稿

### 岩井宏之さんを訪ねて



今年のゴールデン・ウィークに帰郷した折、私は岩井宏之さんを訪ねた。

五月三日朝八時、高速艇が土庄港に着くと、岩井さんが出迎えて下さっていた。初対面ではあったが、旧知の友人と再会したような喜びがあった。

新築したばかりの立派なご自宅でお話を伺った。

昭和十七年四月、岩井さんが土庄小学校から高中に入學して下宿したのは、高松市外磨屋町にあった根本忠氏のお家だつた。岩井さんのお母さんは小学校の時、若い女教師だつた根本さんのお母さんの教え子であつた関係

による。

向田邦子さんは同年四月、県女に入學した。暫くしてお父さんが東京に転勤し、ひとり高松に残ることになった。向田さんのお母さんは、根本さんのお母さんにお茶を教わつていて親しかったので、邦子さんを下宿させてくれるよう懇望されたのである。

向田さんの下宿生活も、わずか一カ月だけで、一学期末には東京へ転校して行った。従つて岩井さんと向田さんが共に根本家にいたのは、一カ月だけだつた。

向田さんが文壇に登場したとき、岩井さんは、あの向田さんであるとは気がつかなかつた。ところが『父の詫び状』が出て、高中や京都薬専(現在の京都薬科大学)時代の友人から、ぞくぞく連絡が入り、初めてあの時の女学生だつたことに気づいて驚いたそうである。それにしても、一カ月の知り合いだけに向田さんの思い出は少なく、彼女が克明に日記をつけていたのを薄ら覚えてるぐらいだといふ。

従来から高中では、映画は学校が許可したもの以外は見るのが許されなかつた。また、食堂やレストランに入ることも禁止され、両親と一緒にあつても入ってはならぬと、厳しく教えこまれていた。まして女学生と並んで歩くことなど考えることも出来なかつたので、一緒に通学したことは全くなかつた。

向田さんが関心を寄せていた岩井夫人は、上品でやさしく美しい方である。坂出の出身で、帝国女子薬専(現在の大阪薬科大学)ご卒業である。

岩井さんには二人のお子さんがいて、共に高松高校に学んだ。お嬢さんの孝子さんは京都薬科大学卒業。ご子息孝之さんは最年少で京都大学薬学部を卒業し、現在三井物産本社に勤務している。

根本忠氏は、当時高中に入って直ぐ陸軍幼年学校に進んでいたため、向田さんとの出会いはなかつた。外磨屋町のお家は戦災で焼け、一家は郷里の土庄町に帰った。忠氏は、戦後高中を卒業して香川師範に進み、現在小豆島の湖崎小学校校長を勤めている。二人のご子息、伸さん、順さんがおり共に高松高校から東京大学を卒業、それぞれ三井銀行と日産自動車に勤務しているそうだ。

岩井さんから、近所に私の同級生の高尾武一君(現在名 雅三)がいることを知った。高尾君が小豆島出身であることは承知していたが、土庄町の出身とは知らなかつた。早速岩井さんのご案内で訪ね、四十数年ぶりの懐かしい再会と相成つた。高尾君の車で岩井さんと一緒に、スポーツリゾートホテル・オリビアンから寒霞溪へと快適なドライブに誘われ、新緑の小豆島の絶景を満喫できた。生涯忘れ得ぬ楽しい小豆島旅行であつた。



見たバラックのことではないか。二人は重い足を引かずして寒風の道を引き返した。バラックと行っても、中ではストーヴが燃えており、すっかり冷え切った私達には天国だった。向うの中学校で貰った転校の書類を見せ、一年生は夏休みで打ち切りになって何もやっていないから、もう一度やり直したいと申し出たが、もし私が一年生に入ると、新一年生が一人、入学出来ない勘定になる。この学校は名門校でみんな必死で入りたがっているのだから、是非とも二年生に上って貰いたい…という返事だった。

四月から通学することになった。

五つの分教場があり、私が通うことになったのは、川岡の分教場だった。琴電の「岡本」と云う駅で降りるのだが、この駅は「陶」からは三つ目で、高松よりはずっと近いので有難かった。

私が初めて四国の土地を踏んだ日に、電車から感動して見た大きな池の堤を通り、一キロ余り歩いた所にある小学校の講堂を借り、四隅に黒板を立て、その前に座り机を並べ、板の間に座って授業をした。仕切りなどはな

いから、他のクラスの先生の声が、まる聞こえだった。

田ん圃の真ん中の学校だから、生物の時間などで解剖の実験をするために、『蛙を捕って来い』…ということになると、四匹や五匹の食用蛙はすぐに捕えられた。友人の中には器用にやるのがいてやれこれが肺だ…、これが心臓だ…、あっ、まだ動いている…などと言って得意になっていたが、私は可愛そうで、横目で見るのが精一杯だった。

名門校といわれるだけあって、英語の程度は頗る高かった。戦時中は英語は敵国語だといふので普通の学校ではろくに教えなかったが、この学校では立派にやっていたようである。この頃は未だ国定教科書を使っていたが二年目は、現在完了…などというのから始まった。一年生を半分しかやっていないのに無理矢理二年生にされ、ABCがやっと分かる程度の私には全く理解出来ない世界だった。だから、一学期の席次は中以下…という惨憺たるものだった。小学校を卒業した時は一番で、右総代だったのに…と言って母は悲しんだ。

その夏休みは猛勉強をした。蚊帳の中に入ってやるのだが、暑いだろう…と言って、母は一晚中、私を後ろから扇いでくれた。三年生になると高松に校舎が新築され、分教場は引き払った。学校制度が代わり、旧制中学校は新制高等学校に昇格し、私達は高松高等学校併設中学校に、編入された。私は母の喜ぶ顔が見たいばかりに一所懸命に勉強をした。お陰で成績も上がり、二期の席次は二年生の時とは比べものにならない程、かなりの所まで行った。母は、大変喜んでくれた。

しかし、その年が明けた昭和二十三年一月の末に、母と帰国後生まれの一歳に満たない弟は、大阪からの帰りに乗った「女王丸」という船が、戦時中アメリカ軍が撒いた機械水雷に触れて沈没し、二人とも、あっ…という間に死んでしまった。

その年の三月に私は、併設中学校を卒業した。学年を通じて三番…という好成绩だったが、母に見て貰えないこの通信簿は宙に浮いてしまった。

## 寄稿



## 女王丸

河江一仁●昭和二十六年・高高卒

私は小学校の一年生から中国の青島で育った。そして、昭和二十年四月に、「青島日本中学校」に進学したが、八月の終戦で学校は閉鎖になってしまった。その翌年の二月の初めに、賠償として残していく日本の紡績機械を操作出来る技術者を指導するために父は残されたので、私は母と二人で引き揚げた。何の前触れもなく私達が転がり込んだ「陶」の伯父は、私達のために奥の四畳半を提供してくれたが、随分、迷惑な話だったと思う。しかし、この伯父は父の長兄でもあったし、私達の本籍でもあったから、当然のような顔をして厄介になった。

父が外地から帰って来るのは何時のことか分からないので、学校へ行くことなどは半ば諦めていたが、母は、そんな私を不憫だと思っただらう。一ヶ月ほど経ってから、矢張り中学校へ行ったらどうか…と言いつ出した。伯

父は学問などより手に職を付けた方がまだ…と反対したが、従兄弟の清春さんは、いや、これからは学問の世の中だから…と言って、賛成してくれた。

当時、高松には「高松中学校」と「高松第一中学校」の二つしかなかった。清春さんは中学など出ていないので、どちらが良いのかわからなかったが、高松中学校の方が字数が少なく、履歴書を書くのに手間が省けて良いのではないかと…と言う。それもそうだと…言うので、いとも簡単に決めてしまった。

転校の手続きをするために、母も一緒について来てくれた。その日は殊に寒く風も強かった。着物の裾が捲かれるし、髪は乱れるし、母には大変気の毒だった。

目指す学校は、すぐに見付かった。門柱に「香川県立高松中学校」と、大きく書かれて

いる。私は小学校から外地で育ったから、滄口日本国民学校…とか、青島日本中学校…などと言って、必ず、日本…と云うのが付いていたのに、それが無いから、随分と間の抜けたような妙な気がした。

校門の隙間から中を覗くと、校舎はなく、枯れ草が礎石の上に散らばっており、隅々に粗末なバラック建ての小屋が一つあるだけだった。どうしたものかと思つてよく見ると門扉に地図と一緒に「ご用の方は△△へ」…と書かれた張り紙がしてある。それを頼りに私達は高德線の踏切を渡り、尋ね尋ねて一時間近くも歩き、やっと辿り着いた所は、香西の分教場だった。

受付も何もないから、無礼を顧みず授業中の教室の戸を開けて先生を呼び出した。訳を話したら、それでは、ここへ行きなさい…と行って教えて下さった場所は、何と、最初に



プロ野球選手を夢みて野球を志したのですが、共にものならず断念したのでした。彼は、自分の二世に夢を引き継いで見事に夢がかなったのだから、その喜びはどんなものだろうか、会って祝福したくなりました。

しかし、ここで意外なことを聞き出したのです。芝草投手は十一球団からスカウトされたのですが、その中でも巨人が熱心にスカウトし、ドラフト会議直前まで三位指名を約束していた為、他の十球団は手を引き、会議にのぞんだということでした。しかし巨人は、その約束を守らず、六位までに指名しなかったのであります。

事情はどうあれ、まだ高校生で十八歳の子供の心を平気で傷つけてしまうやう方に、私はアンチ巨人ファンとして、声を大にして猛省を促したく思います。結果的には日本ハム球団に指名され、良かったと思うのは私だけではないように思われます。また、芝草投手の父親の態度もフェアであったと思います。

前述の理由で日本ハム球団に指名されたのですから、契約が難航されるものと思われ、一時は私のような者にまで、難航した場合説得してもらおうと思っていたことを、球団代表の小島さんからあとで聞き、びっくりしたのですが、それも杞憂に終り、無事契約したことを聞き、彼らしいさわやかさは変わっていないなあと思ったものでした。

そこで小島代表から彼の家の電話番号を聞

き、電話をかけたのですが、ここで私の職業病とも言うのか、悪い癖が頭をもたげてきたのです。その時の会話の内容を要約しますと、私「やあ、久しぶりだな、元気らしいネ。」

彼（芝草投手の父親）「三栖さんこそ久しぶりですネ、今はどちらですか。」私「転勤で東京に出てきたんだよ、ところで、息子さんの日本ハムファイターズ入団おめでとう。」彼「いや、ありがとうございます。これからが大変です。」私「君の息子さんにしては出来過ぎているので、まさか君の息子さんとは思わなかったよ。ところで契約金はどうする気かね、私の銀行に、少し預からせてくれないかね。」彼「もう決めてしまっています。断るのに困った位なのです。でも三栖さんのお断りを断る訳には行きませんが、では少し協力させてもらいましょう。」

まあ、ざっとこんな会話で、しかも他の金融機関の人達が、彼の家へ何回、いや何十回と通ったことを、私は厚かましく電話一方ですべてしまったのであります。後輩とは云え、まだ会う前なのに、二十数年振りに受話器から聞こえている声だけで確かめ合った心と心の絆は変わることなく、私の勤めている銀行に契約金を預けてくれたからというのではなく、友情とはこんなものかと、私はうれしく思わず目頭が熱くなるのをこらえられませんでした。

その後機会があり、彼と私の職場の近くの

日本橋でゆっくりと語り合うことができ、彼の、息子さんをここまで育ててプロ野球選手にした苦労を聞き、感慨深いものがありました。

私はいつも思うのですが、人間は自分だけの力だけではどうしても限界があります。いつか、どこかでどんな機会でお互いが助け合い、そして力になっていけたら、どんなに素晴らしいかと思うのであります。私は彼との再会で、学生時代にスポーツをしていて良かったこと、また友達とは、何年振りに会っても変らないものだということを、教えられたような気がしてなりません。

心と心のふれあいで生まれた縁という一本の太い絆が、彼と彼の息子さんを、立派なプロ野球球団である日本ハムファイターズへ入団させたのだ、と私は思わずにはいられませんが、紙上を借りて申し訳ないのですが、どうか玉翠会の先輩である大社オーナー、小島代表、わが玉翠会会員である芝草君の息子さんを、将来のファイターズのエースとして立派に育てて、日本一を目指していただきたい。そう思うのは、私だけではないように思います。

私もようやく東京の生活に慣れてきて、皇居のお堀の緑も目にあざやかな今日この頃、私はふと二十数年振りに会った彼との思い出を、これからも大切にしていきたいと思うのであります。

## 寄稿



## 友との再会

三栖祥児 ●昭和三十四年・高小卒

あれは昨年（昭和六十二年）八月の中頃、私は久しぶりに夏休みをとり、新居浜の自宅でテレビを見ていました。丁度夏の全国高校野球大会の真っ盛りで、テレビの画面には東京代表の帝京高校が映し出されていました。帝京高校のエースナンバーをつけた芝草投手が、東北高校を相手にノーヒットノーランを記録した日でもありました。

中学時代（高松市立桜町中学校）の野球の後輩に芝草君という選手がいました。その後私も同じコース、高松高校野球部から中央大学へと進み、親しくしていた彼のことを、私はテレビを見ながら思い出していました。その時は、同じ珍しい姓とはいえ、まさか彼の一人息子の勇姿だとは、夢にも思いませんでした。彼とは卒業後二十数年になりますか、どうしているかな、元気でやっているかなと思っただ位でありました。

その後私は、勤めている銀行（百十四銀行）の転勤辞令により、十月一日付で四国の新居浜から東京へ赴任することになりました。東京は、学生時代に過ごしたとはいえ、二十四

芝草投手



HAMファイターズがあることは衆知のことです。

日本ハム球団（ファイターズ）に小島武士さんという球団代表の方がおられ、私はさっそくに挨拶した訳ですが、小島さんは、高校では私の二年後輩になり、大学は立教大学へ進まれ、日本ハム株式会社へ入社された方です。

小島さんは私のような者がいうのも変ですが、若くして球団代表になられるだけあって非常に立派な方で、私も前から尊敬していた人ですが、私が東京へ転勤になったことから、久しぶりにお会いすることができた訳でございます。

そこで小島さんとお会いして話をしている内に、日本ハム球団が今年度のドラフト会議で、帝京高校の芝草投手を指名したことを聞き、彼の父親が私の友人の芝草君であること、小島さんから初めて聞いたのであります。夏休みに高校野球をテレビで見た、あの帝京高校の芝草投手が彼の息子さんであること、聞き、びっくりすると共に、私も彼も昔、



夕本があるに違いないと捜していたところ、偶然にそのひとつである世界史講座（東洋経済）全五巻を見付けた。ところが金がないため、皮肉にも先生にお願いで、宮脇書店から月賦で買っていたことが、なつかしい思い出となっている。

その後私がアメリカ留学で、中国現代史を中国人の教授から学び、また、在仏日本大使館に三年間勤務するに当り、フランス語と格闘する破目になったのも、「瑣事に拘泥せず、物事を広くかつ全面的に見よ」と教えてくださった先生の、深い学恩のおかげと感謝している。

〔西村 信重先生〕故人。英語。一年の授業担当。草薙、渋谷両先生と違って私と年齢が近かったこともあり、多くの先輩、同級生と同じく、私の兄貴分だった。突然の訃報に接して、肉親を失ったような衝撃を受けたのは私ひとりではなかったはずである。

先生の授業は荒削りで、正直言ってあまり面白くなかった。髪ボサボサ、ヒゲ面の若い先生が、ダミ声でやたら難解なことばかりしゃべっているというのが、第一印象だった。しかし先生には、その授業の巧拙などを問題にもさせない、強い人間的魅力があった。それはいささか形容しがたり力で、英語教育への熱意というよりはむしろ、やや古風な表現

になるが、生徒一人一人を立派な人間に育てようとする「人間的感化への情熱」とでも言うべきものではなかったか。そして今にして思えば、私が最も強く魅かれた点は、先生がそのたぎる情熱を、いまだ洗練された方法で表現することを知らない青年だったことにあるように思う。その意味で、先生は当時の私の一部だったのである。

もしご健在ならば、高松で真っ先にお訪ねしたい先生も、今は亡い。先生がこよなく愛したリルケの詩集を書店で見かけるたびに、そしてこれまた先生のおかげで宮脇書店から月賦で求めた古ぼけた研究社の大英和を繰るたびに、衷心よりご冥福を祈らずにはられない。

〔岩部 賢次氏〕バレエ部コーチ。岩部さんは高松の卒業生であるが、高松の先生ではない。コーチも全くの手弁当でやっていたのだ。しかし上記の三先生に優るとも劣らぬ強烈な印象を与えられた方である。同窓の嶋暉幸、佐々木南洋の両君は勿論、バレエ部の先輩、後輩にとっても同様であろう。

岩部さんからは、闘争心、克己心あるいは決断力、岩部さんの口ぐせでは「遅疑逡巡するなかれ」といった精神面の教えを多く受けた。技術面の指導も勿論いただいたが、私の技術が向上しないまま卒業してしまった。

ご自信が高高バレエ部時代に予科練帰りの先輩にしごかれただけあって、表現は軍隊式、コートの傍らに青竹を持って立っておられた。しかし不思議なことに、私達が岩部さんに殴られた記憶はない。仮りにあったとしても、そんなことは問題にもならなかったろう。岩部さんの無私無欲の愛情を皆よく理解していたのである。

新聞等で「体罰」が問題になるたびに、つくづく時代の変化を感じると共に、岩部さんの敵しいがどこか人なつっこい顔が浮かんでくる。と同時に、あれほど指導していただいたにもかかわらず、はかばかしい戦果をあげられなかったことを今でも申し訳なく思う。

高松卒業後四半世紀を経た今も、以上の諸先生に代表される方々が、なお鮮烈な記憶をもってよみがえるのは何故だろうか。思うに、個々の理由はともかく、総じていえば、それぞれの方の人間としての「志の高さ」によるのではなからうか。

物質的には決して恵まれなかった昭和三十年代のその不思議な輝きが、ジャカルタで見た人々のこれまた不思議なほどに明るい表情と重なり会い、次の問いを私自身に発せしめるのだ。星霜移り、自分がかつての先生方と同じ立場にいる現在、私の志は同じように高いのであろうかと。

## 寄稿



兼元 俊徳 ●昭和三十九年・高松卒

## 忘れえぬ人々

過日出張で、タイ、シンガポール、インドネシアを駆け足で回った際、最終行程のジャカルタの街角でふと、「これは三十年前の日本だ!」と思った。と同時に、旅行中ずっと感じた胸のつかえがスッと消え、東南アジアが急に身近な存在となって迫ってきた。ジャカルタで発見したこの既視感、この一文を草するに当たって、昭和三十六年から三年間、高松高校で私を指導してくださった先生方をとりあげる契機となった。四半世紀以上の歳月を経た記憶をたどりつつ、書いてみたい。

〔草薙 正典先生〕国語。二年の担任。二、三年の授業担当。東京高師で能勢、諸橋の両碩学に師事された先生は、和漢の古典に造詣が深く、かつ亦、詩人十国 修（じっこく・おさむ）として永く創作及び訳詩の活動を続けてこられた。T・S・エリオットやW・C・ウィリアムズの詩を読みながら試験監督をされる方で、私の最良の英語個人教授でもあ

られた。S・アンダーソンの短編集『ワインズバーク・オハイオ』を貸していただいたが、当時の私にはとても歯がたたなかった苦しい思い出がある。

奥の細道の授業を生徒に持たせたり、謡曲『隅田川』のテープを聞かせたり、あるいは漢詩を中国語で読んでくださるなど、授業に種々の工夫をこらされていたのも、今に思えば日本文化と漢字（あるいは仮名）という大問題と格闘してこられた詩人、草薙先生の我々へのメッセージであったのだろう。おかげで授業中は、退屈するどころか大いに緊張を強いられたものである。その後、私の言葉に対する関心が、英語からフランス語を経て、日本語に回帰しつつあるのも、草薙先生のおかげによるものと思っている。

ビルマと仏印で死線を越えてこられた先生は「静かな力」とでも形容するべき方で、私のような騒々しい人間には怖いタイプ。若さと無知にまかせて論争を挑んでも、にこやかに、しかし真剣に相手にされて、とても歯が

立たない、といつも思った。高松に帰ると、先ず思い出す先生の一人である。

〔渋谷 晴美先生〕世界史。一〜三年の授業担当。大阪外語でフランス語を修めた後、京都大学の宮崎市定門下で東洋史を学ばれた。先生の授業のハイライトが、中国史とフランス大革命だったことは言うまでもない。特に一年生の三学期の殆んどが中国史だけで明け暮れたほどで、このペースでは三年かかっても教科書の半分も進まないかと心配したものだ。一年の一学期の試験問題に、井上靖の名作『敦煌』の冒頭にある「趙行徳が進士の試験を受けるために、郷里湘南の田舎から都開封へ上ってきたのは、仁宗の天聖四年（西紀一〇二六年）の春のことであった。」という一節が引用されていたのには、正直いって仰天した。

講義は大変面白かったが、教科書からみると、脱線の連続。二年生のことだったか、こちらも多少悪智恵が働くようになり、何かネ



# 地元三九会の近況

吉岡哲朗

三十代も半ばを過ぎて、それぞれが企業の中で、あるいは所属する団体の中で中核として活躍し、前だけでなく少しは回りにも目を移せるゆとりが生まれ始めた頃、高松で高高三十九年卒の同窓会、高高三九会が発足した。先輩達もそんな会を発足させているとの話も伝わり、我々もということで誰れ言うことなくそんな動きが出てきた。

そんな中で新聞社に勤務するM君の存在が大変大きかった。仕事がいりんな人に会い、様々な情報を得られる彼が、その中心となって同窓生の消息を探ってくれた。

卒業してお互いに一度も会ったことのない者、仕事の関係で意外に近い存在でありながらお互いにそのことを知らなかったり、県内在住者も結構いることが分かった。

とりあえずはお盆にビヤホールでもということで、集まれるものだけ集まった。それでも四十人以上集まっただろうか、第一回三

九会発足の宴を昭和五十七年一月三日に開催した。

その後は、毎年夏に三九会ビアパーティーを開催している。特に案内状を送付するなどことはしていないが、その時期に帰省する人は、地元の者には是非一報頂きたいものである。

その後昭和五十九年一月に卒業二十周年を記念して、グランドホテルで大同窓会を開催した。その席にはお世話になった先生方にも来て頂き、百二十人を超える盛会であった。

昭和六十年から六十二年にかけて、日和佐の薬王寺へ厄払いの小旅行を実施した。迷信かもしれないが、四十を過ぎると体のそここに変調をきたし、多少健康に不安も抱く。

半信半疑ながらも、みんなでなごやかに遠足気分の良い一日を過ぎて、厄除が出来るものなら、ということでも豪華バスを一台借り切り、途中ワイワイ言いがら高校時代に

返って、青春の思い出話に花を咲かせた。

同行した人の中には「一番で入学したけど、出るとき〇〇番だったなあ」とか……仕事の話、家族の話、みんなそれなりに年をとったものだどつくづく思った。高校時代と違うのは、道中アルコールが同伴をしてくれるということがある。

やがて関東三九会、関西三九会が誕生し、それぞれ活発に活動をしているようであり、大変喜ばしい限りである。

前述のM君が、昨年東京へ転動してしまっただ。地元にとっては大きな痛手であるが、関東三九会はさらに活性化するであろう。

今年の東京玉翠会の当番幹事を三九会が努めるとのこと、大変ご苦勞なことだと思えます。高松からも出来るだけ多く出席させて頂きその労をねぎらいたいと思えます。

再会を心待ちにしながら、皆様の努力ですばらしい会になるよう期待します。



生徒会長 藤本智子

## 生徒会報告

私は第七十七代の生徒会長となりました、新二年生の藤本智子です。『二十六年ぶりの女生徒会長』ということで、世間で騒がれ、新聞にも載り……、このせまい背中に、のりきれない程のたくさんの期待を背負って、昨年の十一月十七日にスタート致しました。それでは、最近の生徒会の活動の一部についてお知らせします。

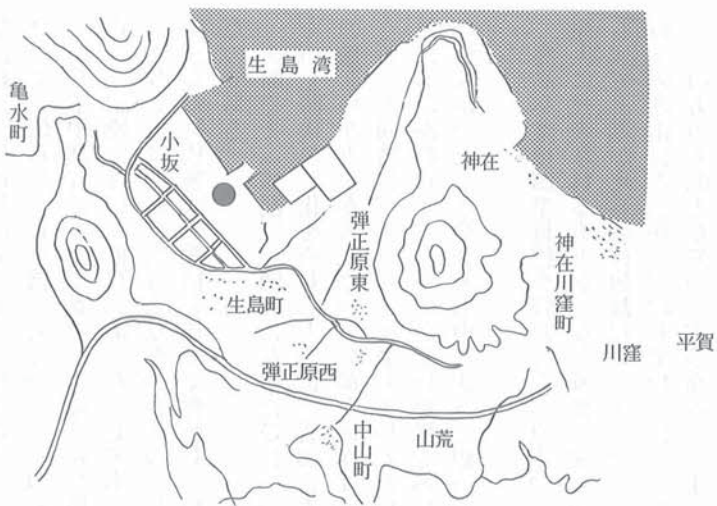
四月十三日に『新入生歓迎会』を開き、応援、演劇、吹奏楽部などがそれぞれのすばらしい演技を披露してくれました。そして、会の最後には、副会長（新三年生）の山下敏雄君が、自ら作詩作曲した歌をギターで披露しました。山下君のかくれた才能に私たちは驚かされました。

四月十四日には、『校友会フェスティバル』（五十九年からはじめた校友会紹介）を開きました。今年とは違って、『生徒会役員により一年生を誘導し、各校友会を回っていく』という案内を実施しました。はじめの試みで、うまくいくかどうか心配でした

が一応、成功をおさめることができ一安心しました。

また、五月十日には『体育祭』が開催されます。河川敷公園が大風のため使用できないということ、今年、生島の総合運動公園（地図参照）で行われます。これも、はじめの試みですが、成功するかしないか非常に不安なのですが、成功するよう、がんばりたいと思っています。

活動（の紹介）についてはこれぐらいですが、最後に、忘れてならないのが新体育館の落成です。従来の体育館は、夏になると蚊が出現し、先生がキンチョールを片手に体育館中を歩き回り、私達もあの蚊にはよく悩まされたものでしたが、この新しい体育館には、どうやら蚊の入るすきまもなさそうなので、安心してプレーできそうです。そして、このすばらしい体育館を最大限に利用し、運動部関係は六月の総体へむけてがんばっています。きつと良い成績をおさめることができると思っていますので、期待して下さい。





# 東京玉翠会案内

## 第六回東京玉翠会総会幹事を担当して

不惑を過ぎ、男の厄年も超えれば、主観的にはともかく、世間的には押しも押されぬ「おっさん」、「おばさん」に相違ありません。当今の言葉で言えば旧人類、あるいは化石人類の走りくらいに当たるでしょうか。

大体その年頃になると、かつては未来しか映らなかつた網膜の奥に、過ぎし日々の記憶が徐々によみがえり、また同時にその後の変化に対する興味も湧いてくるようになるようです。まさにそのような時、東京玉翠会総会幹事役が用意されています。

今回、総会幹事を担当した我々昭和三十九年卒の東京玉翠会会員数は、毎年数名程度の出入りはあるものの、ほぼ百二十名、昭和三十九年卒全体の約四分の一が関東地方に住んでいる勘定になります。これだけの人数でありながら、第三回総会（昭和六十年）までの出席数は各回十名前後と芳しいものではありませんでした（因みに最近の集計によれば東京玉翠会会員総数約五千五百名、過去二回総会出席者数各回約七百五十名）。こんなわけで、それまでは総会幹事を担当することなど

は到底おぼつかない状況でした。

しかし、機は熟していたのでしょうか。昭和六十年秋、本幹事担当を意識しつつ、高松在住の昭和三十九年卒業生（高高三九会）の協力の下に発足した「関東高高三九会」には六十名が集まりました。更に、翌昭和六十一年の第四回総会には二十八名が出席し、受付業務を遂行することができました。これではずみをつけ本総会幹事担当に至るわけです。

東京オリンピックの年に卒業し、ソウルオリンピックの年に幹事を担当することになった我々は「参加することに意義がある」とのオリンピック精神の下、まず昭和六十二年九月八日第一回準備会開催、次いで十月三十一日関東高高三九会総会を開催して、担当者を広く募り、以後適宜準備会または分会を開いて参りました。そして、運営方針としては実質合理的に行うこと、但し予算は動員および広告で頑張り、必要な支出は惜しまないこと、テーマは瀬戸大橋開通にちなんで「橋」とすること、催し物は全員参加型を旨指すこと、プログラムはバラエティ豊かな紙面とす

るために縦書右綴じとすること、等が決定されてゆきました。船上でのパーティも検討されましたが、採用に至りませんでした。

これらの準備の全過程を通じて、先輩から貴重な資料および御意見を戴いた他、高高三九会の仲間からも親身の援助を受けました。また当日の受付担当は昭和四十一年卒の皆様にお願いしました。各人が準備の為、多少の時間的制約を受けたことは否めませんが、むしろ各人各様の生活環境下にありながら、みんなの知恵と力を持ち寄って一つの目的に取り組んでこられたことは、我々にとって大いなる収穫であり喜びであります。「やれば楽しい」、これが原動力であり結論です。

聞けば、母校では生徒に東京玉翠会を積極的にアピールしてくれている由です。これまでに諸先輩が築いてこられた成果の上に、母校の期待に応えられるよう更に一層東京玉翠会が充実し発展することを祈念し、併せて本総会開催に御協力戴いた皆様と御出席の皆様

様に深く感謝申し上げます。

（高高三十九年卒 小倉良弘）



# 東京玉翠会会則

## 第一章 総 則

(名 称)

第 1 条 本会は東京玉翠会という。

(目 的)

第 2 条 本会は会員相互の連絡と親睦を図り、母校の発展を期することを目的とする。

(事 業)

第 3 条 本会は前条の目的を達するため次の事業を行う。

- (1) 会員相互の連絡、親睦を図るための会合、行事
- (2) 会報、会員名簿の発行
- (3) 母校の発展に寄与すると認められる事業

(事 務 局)

第 4 条 本会の事務局を東京都内に置く。

(会則改正)

第 5 条 本会則の改正は幹事会の決議による。

## 第二章 会 員

(会 員)

第 6 条 本会は、香川県立高松中学校、同高松高等女学校、同旧高松高等学校、同旧高松女子高等学校及び同高松高等学校（以上五校を母校という）の卒業生（これに準ずる者を含む。以下通常会員という）ならびに母校の旧職員（以下特別会員という）で東京都及びその周辺に在住する者をもって組織する。

(部会の設置)

第 7 条 1 第 3 条の事業を行うため母校別の部会を置くことができる。  
2 部会の運営はその所属会員の協議による。

(会 費)

第 8 条 1 通常会員は年会費を納入しなければならない。

2 年会費の額は、毎年常任幹事会の決議によりこれを定める。

## 第三章 役 員

(役 員)

第 9 条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会 長 1 名
- (2) 副 会 長 4 名
- (3) 常任幹事 若干名
- (4) 事務局長 1 名
- (5) 幹 事 その員数は次条第 2 項の定めによる
- (6) 監 事 3 名

(役員を選出)

第 10 条 1 会長及び副会長並びに監事は総会において選出する。  
2 幹事は各卒業年次毎に通常会員の互選により各 1～2 名を選出する。  
3 常任幹事は会員の中より会長が指名する。  
4 常任幹事のうち 1 名を事務局長、1 名を会計担当として会長が指名する。

(任 期)

第 11 条 役員任期は 2 年とし重任を妨げない。但し補欠により就任した役員任期は前任者の残任期間とする。

(役員職務)

第 12 条 1 会長は本会を代表し、会務を統括する。  
2 副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときは会長の職務を代行する。  
3 常任幹事は常任幹事会を構成し重要な事項の審議、決定を行う。  
4 幹事は同期生の消息を把握しその連絡にあたるほか、幹事会を構成して会務の執行を決する。  
5 監事は本会の会計を監査する。



## 第四章 会 議

(総 会)

- 第 13 条 1 総会は会長の招集により毎年 1 回開催する。  
なお必要ある場合には臨時総会を開催することができる。
- 2 総会においては、次の行事を行う。
- (1) 会務及び会計報告
  - (2) 会員の親睦を図る行事
  - (3) 本会の運営に必要な事項の決定

(幹事会・常任幹事会)

第 14 条 幹事会、常任幹事会は必要の都度会長が招集する。

(議 長)

第 15 条 総会、幹事会、および常任幹事会の議長は会長があたる。

(議 決)

第 16 条 総会、幹事会、および常任幹事会の議決は出席者の過半数をもってこれを行う。可否同数のときは議長の決するところによる。

## 第五章 会 計

(会 計)

第 17 条 本会の会計は年会費及び寄附金その他の収入による。

(会計年度)

第 18 条 本会の会計年度は毎年 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月末日に終る。

## 第六章 そ の 他

(顧 問)

- 第 19 条 1 本会は常任幹事会の推薦により顧問を置くことができる。
- 2 顧問は会議に出席し意見を述べることができる。

## 附 則

第 1 条 本会則は昭和 58 年 6 月 25 日より施行する。

## 東京玉翠会役員名簿

会 長	平 井 健 吉	(高中 23回)
副 会 長	宮 井 仁之助	(高中 44回)
	松 浦 三知子	(高女 昭和 4 年)
	多 田 野 久	(高高 昭和 25 年)
	永 野 精 子	(高高 昭和 27 年)
常 任 幹 事	乾 浩 三	(高中 43回)
	木 下 薫	(高中 44回)
	辻 部 俊 介	(高中 47回)
	大 西 實	(高中 54回)
	前 田 フ ミ	(高女 昭和 8 年)
	松 原 スミ子	(高女 昭和 8 年)
	岡 式 子	(高女 昭和 11 年)
	東 原 武 子	(高女 昭和 13 年)
	内 田 信 子	(高女 昭和 16 年)
	和 波 良 子	(高女 昭和 20 年)
	藤 井 富 弘	(高高 昭和 26 年)
	久 保 醇 治	(高高 昭和 27 年)
	井 関 賢 治	(高高 昭和 29 年)
	近 藤 和 彦	(高高 昭和 30 年)
	宮 武 敏 夫	(高高 昭和 31 年)
	三 宅 貴 子	(高高 昭和 33 年)
	三 崎 屋 義 正	(高高 昭和 34 年)
	星 野 正 信	(高高 昭和 38 年)
	岡 正 晶	(高高 昭和 49 年)
事 務 局	大 西 昭 一 郎	(高高 昭和 33 年)
監 事	松 田 和 光	(高中 47回)
	鷹 尾 律 子	(高女 昭和 11 年)



## 寄贈図書目録

皆様に御協力いただきました母校図書購入資金で  
下記の図書が、特別コーナーを設けて揃えられてお  
ります。今年もなにとぞ御協力をお願い致します。

年度	出版社	書名	巻数
S53	河出書房	トルストイ全集	20
53	みすず書房	ヴァジニア ウルフ著作集	8
54	講談社	ファミリーック	14
54	岩波書店	地球科学	16
55	文芸春秋社	菊池 寛文学全集	10
55	趣味と生活社	世界への旅	11
56	講談社	世界動物文学全集	28
56	筑摩書房	石川啄木全集	8
57	ライフ社	人間と科学シリーズ	21
58	ほるぷ出版	体育スポーツ科学選書	14
58	ほるぷ出版	日本の詩	25
59	講談社	現代総合科学教育大系	13
60	ほるぷ出版	数学マイウェイ	8
60	ほるぷ出版	英文「日本大百科事典」	9
61	筑摩書房	ちくま少年図書館	100
61	東大出版	講座「日本思想」	5
62	朝日新聞社	「世界の地理」及び別巻付録	12
62	河出書房	「文芸読本」「自然読本」	25

皆様の御芳志にたいして、心から厚くお礼を申し上げます。  
御芳志を上記の図書にかえて、「同窓会寄贈文庫」の銘を付し、在校  
生・職員等の閲覧に供しておりますことを御報告いたします。

63年5月 高松高校図書館

## 祝

### 第6回東京玉翠会総会

~~~~~

#### 第6回東京玉翠会に

ご協力有難うございました

クイズ景品等御寄贈戴いた方々

(アイウエオ順・敬称略)

朝日生命保険相互会社  
協和醸酵工業株式会社  
株式会社 資 生 堂  
西武不動産株式会社  
株式会社多田野鉄工所  
帝人株式会社  
株式会社 長 崎 屋  
日本電気株式会社  
日本ハム株式会社  
平川音響株式会社  
瀬戸大橋架橋博覧会協会



# 新設開店

4月27日

## 東京支店

支店長 金谷嘉郎

東京事務所長 家石陸雄  
(昭和36年卒)

支店長代理 藤目清貴  
(昭和44年卒)

# 香川相互銀行

支店所在地 〒101 東京都千代田区神田北乗物町1-1  
イトーピア神田共同ビル 3F  
TEL 03(258)7121(代) FAX 03(258)5596

# 祝

## 第6回東京玉翠会総会開催

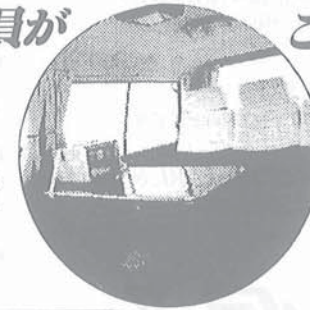
東京晩翠部会

# 夢のかけ橋《瀬戸大橋》開通

ぐる〜り巡る四国の旅は  
経験豊かな乗務員が

ご案内いたします

- リクライニング
- カラオケ装置
- テレビ・ビデオ完備
- おしぼり・スリッパ・お茶サービス無料



- 天井はハイルーフ
- 特製シート・冷暖房完備
- 冷(温)蔵庫完備
- 余裕のラゲッジスペース

9人乗りジャンボタクシー  
6人乗りサロンカー

だから!!

ご家族・グループのご旅行にご利用下さい。

代表取締役 古竹久雄  
(高高30年卒)

常務取締役 藤沢 晶  
(高高38年卒)

**NISSIN 日新タクシー株式会社**  
TAXI 本社/香川県高松市天神前9番12号 ☎(0878)61-2344(代)  
観光予約課 ☎(0878)62-2344

FAX《0878》35-5511  
テレックス5822-109

ホテルの庭は栗林公園—四季を感じるホテルです。



客室/104室  
シングルルーム……………90室  
ツインルーム……………6室  
ダブルルーム……………6室  
デラックスツインルーム……………2室

駐車場  
全館防火防災設備完備

- 1F/レストラン
- 2F/そば庄花蕎 HANASOBA

パークサイドホテル 高松 高松市栗林町1-3-1  
0878-37-5555



そば庄花蕎 HANASOBA

ホテル2F 0878-37-5289

アールエマシーパック株式会社 高松市栗林町1-1-18  
0878-61-4921



## ファミコンで株式投資

- ご家庭に居ながら簡単な操作で画面から
- リアルタイム株価 ● 株価チャート ● 個別銘柄情報 ● 銘柄選択情報 ● 銘柄ランキング ● 東証株価指標 ● 保有株式の時価評価などの最新情報が得られ、さらに画面で確認しながら株式の売買注文などがお出しいただけます。
- ご利用時間は朝7:00～深夜1:00まで
- ただし第2、第3土曜日、祭日は朝7:00～夜8:00までです。
- 日曜日はご利用になれません。
- ※通信カードリッジは(プリジストン)FAM-NETIIをご利用ください。  
山一証券で購入申書を用意しております。料金は1万7千円です。

# サンラインII

「サンライン」についてのお問合せは最寄りの  
山一証券本・支店または下記の電話へお気軽にどうぞ。

☎(局番なし) **0120-001234** ※平日/8:30-17:00  
※土曜(第2・3を除く)/  
8:30-12:00

### 山一玉翠会有志一同

- 大西 俊雄 (高中54回卒)
- 瀬戸 裕 (高高39年卒)
- 岩田 好範 (高高42年卒)
- 渡辺 雅子 (高高46年卒)  
(旧性熊井)
- 大塚 武樹 (高高49年卒)
- 脇谷 左知子 (高高57年卒)

## 山一証券

〒104 東京都中央区八重洲2の4の1  
☎(03)276-3181(代表)

あなたのことをいつも  
見つめていたい



日産火災の代理店をよろしく!

マイホーム、マイカー、そして  
ご家族も、しっかりガード。

# 大きな 安心

を、お届けします。

 **日産火災**

TOKYO AOYAMA

〒107 東京都港区北青山2-9-5 ☎03-404-4111(大代表)

## 技術革新の建築構法

タイル・外断熱壁・透水性舗装・フリーアクセスフロア

 **西谷陶業株式会社**

代表取締役 西谷 正行  
(高中44回卒)

[本社・工場]

〒761 高松市鶴市町2029

TEL 0878-82-1511

[東京事務所]

〒102 千代田区平河町1-5-3

TEL 03-261-2456

## 大河への挑戦!

日本ハムは、総合食品企業としての体制を整え、大河への挑戦をつづけます。

古来より、人と暮らしを潤してきた大河。そんな壮大な流れを築こうと、

いま、北海道から沖縄、そして海外を含めて200社の日本ハムグループは、

それぞれの分野で「大河への挑戦」をつづけています。すでに、その体制づくりは着々と進行していますが、グループ全体が一丸となって、「幸せな食創り」に貢献できるよう、日本ハムはこれからも努力いたします。

 **ニッポンハム**

日本ハム株式会社





## 先進の油圧技術で、 多彩な産業分野の 効率化を進めるタダノ。



スカイボーイ  
**AT-230CG**  
バケット底面高さ 23.0m  
4t車級架装



スーパーZ  
**Z-306M**  
最大ブーム長さ 14.45m  
最大吊上能力 2,930kg  
4t-5.5t車級架装



ボールセッター  
**DT-700P**  
最大吊上能力 2,900kg×4.55m  
最大掘削トルク 700kgf・m  
最大掘削深さ 5.2m



ラフターライン  
**TR-400M**  
最大吊上能力 40,000kg  
最大ブーム長さ 33.4m+13.0mジブ



株式会社 **多田野鉄工所** お問い合せは、お近くの担当支店までどうぞ

北海道(札幌)011(861)9930/東北(仙台)022(257)4555/関東(大宮)0486(41)3621/東京(03)6999  
1441/高崎東(高崎)0485(20)8771/北陸(金沢)0764(36)1555/名古屋(0566)76(1)81/大阪06  
(746)8131/西国(高松)0878(39)5777/中国(広島)082(884)0255/九州(福岡)092(503)7821

## 株式会社 大東繊維

製造発売元

DT型

ユニホーム

代表取締役 末沢 信夫 (高高27年卒)  
専務取締役 堺 淳一 (高高27年卒)

|        |                  |                     |
|--------|------------------|---------------------|
| 本社     | 神奈川県座間市立野台305    | TEL 0462-51-5159(代) |
| 相武台支店  | 神奈川県座間市相武台1-81   | TEL 0462-55-7493(代) |
| 大和支店   | 神奈川県大和市下鶴間1742   | TEL 0462-76-5647(代) |
| 藤沢支店   | 神奈川県藤沢市用田南原489-5 |                     |
| 相模原営業所 | 神奈川県相模原市南台2-3-3  | TEL 0427-46-4400    |
| 新宿営業所  | 東京都新宿区諏訪町75      | TEL 03-202-7144     |

**営業品目**  
作業服、事務服、白衣、無塵衣、防寒衣、ジーンズ、カジュアルウェア  
安全靴、作業靴、無塵靴、ヘルメット、保安用品、雨衣、長ぐつ、地下タビ  
職人用二ツカ、七分、手甲、軍手、軍足、シート、他工場用品全般

## おかげさまで40周年



# 40



## サンパド 長崎屋



**手が遊び、  
手が仕事をする。**

●LES MAINSはフランス語で、「複数の手」を意味します。

主な得意先／ 第一勧業銀行、ユニオンクレジット、イトヨーカドーグループ、信越化学工業、日本航空、旅行開発、日本アイ・ビー・エム、ハートクレジットサービス、昭文社、オリエンファイナンス



レマングループ  
 (株)レマン/ (株)系プロジェクト/ (株)レ  
 マンパブリケーション/ (株)童話屋  
 〒150 東京都渋谷区渋谷 1-3-15  
 パリオンビル TEL 03(407)5631

## 泣いてもお目覚め、 ミルクもイイヤ、 こ機嫌ななめは「運動不足」?



新発売



赤ちゃんが特に病気でなくても、ミルクをよく飲んでくれない、眠りが浅く夜中に起きて泣いたりする。こうした赤ちゃんに効果的なのは、パパやママが発育段階に応じた、適度な運動をさせてあげることです。楽しいビデオとツールの「すくすくジム」は、赤ちゃんの運動不足解消に役立ち、全く新しい育児用品です。

\*全国有名百貨店・ベビー用品売場にてお求め下さい。



大鵬薬品工業株式会社 **ニュービジネス** 事業部  
東京都千代田区神田錦町1-27 フリーダイヤル:0120-494946

現代を反映する紙面で、今夕刊即売紙ナンバーワンの部数を誇る

## 首都圏サラリーマンの 必読情報紙



日刊  
**ゲンダイ**  
daily tabloid

毎日午後、駅売店で発売  
1部=70円

■東京 〒104 東京都中央区築地3-5-4 中川築地ビル ☎03(543)0531

■大阪 〒530 大阪市北区兔我野町2-19 講談社ビル ☎06(315)8755





## 日本塩回送株式会社

代表取締役  
会長 平井 健吉  
(高中23回卒)

東京都港区南青山3-18-7 ☎ 03(403)5471 (代表)

工業用ゴム製品・合成樹脂製品

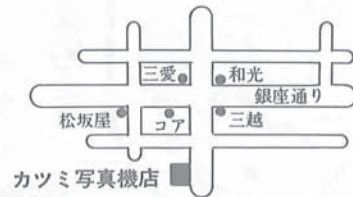
## 極東産業株式会社

取締役社長 中村 文俊  
(高中50回卒)

〒105 本社 東京都港区新橋5-10-5 ☎ 03(433)4761(代)

## 株式会社 カツミ堂写真機店

〒104 東京都中央区銀座5丁目9番1号  
日曜・祭日営業  
☎ 03(571)0468(代)



ニーズに応える確かな技術

# 新潟鉄工

本社 東京都千代田区霞が関1-4-1 〒100 電話(03)504-2121

## あなたの投資戦略に ホットな情報を。



ふやす時代のパートナー

## 日本勧業角丸証券

本店：東京都千代田区丸の内1-6-1 ☎ 03(286)7111  
営業網：全国主要都市76店舗 海外：12拠点

## 岡田輝彦 公認会計士 税理士 事務所

所長 岡田 輝彦  
(高中44回卒)

☎ 03(263)0856 (代表)

〒102 東京都千代田区麴町1丁目3番地 (麴町1丁目3番地ビル)

## (財)日本生産性本部

〒150 東京都渋谷区渋谷3-1-1  
☎ 03-409-1111



## 株式会社 岩本組

代表取締役 藤 沢 恒 代

東京都北区田端2-3-16-101 TEL(03)823-3161(代)



# センチュリー証券

取締役社長 野崎博通  
(高中44回卒)

〒103 東京都中央区日本橋本町2-4  
☎ 03-667-0371

## 鹿島石油(株)

〒102 東京都千代田区紀尾井町3-6  
☎ 03-265-0411

### 「天井」一步先を考えて

快適な住空間の要といふべき天井  
デザインや質感にも  
高いクオリティを追求しています。

住宅天井の総合メーカー

**南海プライウッド** 株式会社

代表取締役 丸山修 (高中44回卒)  
本社●高松市松福町1丁目15番10号 ☎(0878)51-1091(大代表)

## 近藤和彦会計事務所

税理士

近藤和彦

(高高30年卒)

〒110 台東区上野5-15-12 原ビル4F  
☎ 03-835-0025

革新という名の幻想に惑わされて既に20年近い。あなたのかけがえない「ふるさと」は今、どんどん貧乏しています。このままでは玉藻城の廃虚にたずんで荒城の月に涙を流すことになるかも知れません。私はたとえ人柱となっても、高松を建て直し栄光を守りたいのです。



高松に新しい風を……

おお た ひ で あ き

**太田英章**

(高高26年卒)

後援会 高松市栗林町2-3-2  
TEL 0878-31-1900

## 東高化成株式会社

取締役社長 増田陽三  
(高高26年卒)

本社 東京都中央区京橋2-6-16(エターナルビル)  
TEL 03(563)6271(代表)  
FAX 03(563)6278 104  
大阪支店 大阪市東区淡路町2-40-4(弘栄ビル)  
TEL 06(222)2861(代表)  
FAX 06(222)2863 541

## 藤井法律事務所

弁護士 藤井富弘  
(高高26年卒)

〒105 東京都港区新橋4-31-7 中村ビル3階  
TEL 431-2267  
431-2304  
FAX 431-2365

自費出版等 印刷のことなら お気軽に声をかけて下さい

—— 自叙伝、社誌等は原稿がなくても本になります ——

当社のスタッフが原稿作成時よりお手伝い

☎ 433-1481

印刷の総合センター 株式会社 三州社

〒105 東京都港区芝大門1-1-21

井関賢治 (高高29年卒)

栗田俊彦 ( " )



# フジカナ工業(株)

代表取締役 矢野 裕  
(高高30年卒)

〒107 港区赤坂6-6-28  
☎ 03-586-2856

# 株式会社 昭和興産

代表取締役 藤本 烈  
(高高30年卒)

〒107 東京都港区赤坂6-6-28  
TEL (586) 2856

# 宮武医院

宮武 治郎  
(高高32年卒)

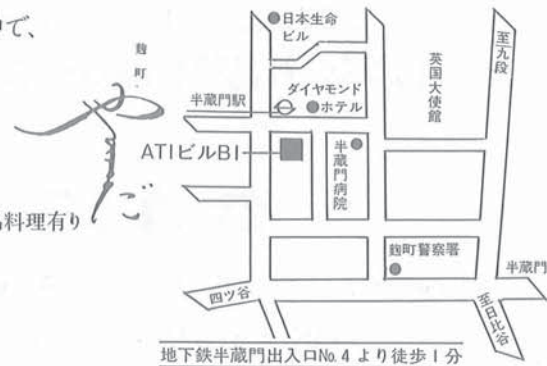
〒192 八王子市片倉町1221-26 ☎ 0426-36-8317

麴町の一等地。洒落た欧風インテリアの中で、  
玄海灘直送の生魚料理をお楽しみ下さい。

- 営業時間 11:30 AM~ 2:00 PM  
5:30 PM~ 10:00 AM  
日曜日・祝祭日・休業
- 昼定食 1,000円~
- 夕 4,000円コースより、他一品料理有り

〒102 東京都千代田区麴町1-8 ATIビルB  
PHONE : 03-221-0505

山田 勲 (高高32年卒)



地下鉄半蔵門出入口No.4より徒歩1分

矯正歯科

渋谷・道玄坂

# 山田矯正歯科クリニック

◎矯正歯科・一般歯科 土・日・祝日休診

院長 山田 勲 (昭和32年卒)

渋谷区道玄坂2-28-4 井門インターナショナル6F

☎464-1166(代)

# 西川紀男法律事務所

弁護士 西川 紀男  
(高高34年卒)

事務所 港区赤坂3丁目2番6号 バゴグビルディング6階  
☎ (587) 1841 (代)

一級建築士事務所

# 株式会社 シバ設計

所長 柴原 力  
一級建築士  
(高高34年卒)

事務所 渋谷区道玄坂1-15-3-319  
☎ 476-4371 (代)

日本鋼管株式会社 特約店 三井石油化学工業株式会社 総代理店  
三星産業株式会社

# 東洋興発株式会社

代表取締役 大熊 伸  
(高高34年卒)

○土木資材各種販売、施工 ○不動産業務

〒272 千葉県市川市南八幡4-5-20  
☎ 0473 (78) 7455~6



**CAP** キャピトル航空サービス株式会社  
CAPITAL TRAVEL SERVICE INC.,

〒100 東京都千代田区永田町2-10-2 TBRビル1014  
☎03(593)1628(代)

森川 伝 (高高35年卒)

出張、留学、招待、割引航空券、まずはご連絡下さい。

- 渡航手続の一切の代行
- 海外旅行の企画、相談及び見積り
- 航空機、船舶、外国内鉄道、ホテルの手配と予約
- 各種パッケージツアーの取扱い
- 旅行傷害保険の取扱い
- 外国人の日本国内旅行幹旋
- 国内航空券の取扱い

タイムリーな企画

きめ細かいフットワークが自慢です

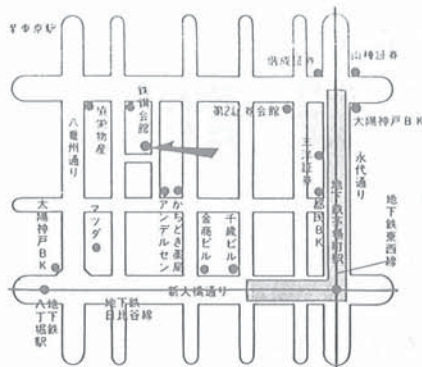


株式会社 **タイムリー・ジャパン**

広告及び人材派遣のトータルイベントサービスを行っております。

〒150 東京都渋谷区神宮前1-21-1 原宿ヒルズ2F  
TEL: 03-479-1601 FAX: 03-479-8288

代表取締役 中野 希行 (高高37年卒)



やきとり  
**鳥 仲**

中野 京子 (旧姓 渡辺)  
(高高38年卒)

中央区日本橋茅場町3-2-3  
邦山堂ビル  
TEL 03-661-8748

システムコンサルタント・税理士

**丸 西 事 務 所**

所長 丸西 和幸  
(高高43年卒)

〒125 東京都葛飾区亀有3-44-3 ロアール亀有503  
TEL・FAX 03-690-6227

日本マンパワーは、  
人材開発の専門機関です。

事業案内

- ◎CDS関連各種事業
- ◎通信教育事業
- ◎人材紹介事業
- ◎ビジネススクール
- ◎各種テスト事業
- ◎企業内教育企画事業

人材開発とキャリアプランのマンパワー

取締役社長 小野 憲  
(高高25年卒)



〒107 東京都港区赤坂4-8-14 ☎03-470-3111  
本社 東京 支社 関西・中部・九州・札幌・広島

手打うどんと季節料理の店

**後 岐 茶 屋**

日本橋店 東京都中央区八重洲一丁目三番八号 電話(二七四)三五〇三番(代)

京橋店 東京都中央区京橋二丁目十一番一号 電話(五六七)五八五〇番

銀座店 東京都中央区銀座四丁目九番五号 電話(五四一)〇八六一番(代表)

田町店 東京都港区芝五丁目十三番七号 電話(四五四)四六二二番(代表)

静岡駅前店 静岡県静岡市東田中字便船坂 電話(四五五)〇三三三番

サン Plaza ゴデンバ 電話(四五五)〇三三三番

**パブ キララ** (昼の部)

鈴木 新子  
(高高28年卒)

中央区銀座7-3-13  
ニューギンザビル2F  
TEL 571-1059

足立・ヘンダーソン・宮武・藤田法律事務所

弁護士 宮武 敏夫  
(高高31年卒)

〒100 千代田区大手町2-3-6  
タイム・ライフビル  
☎ (270) 7461

**阿比留・岡崎・大橋法律事務所**

弁護士 岡崎 洋  
(高高37年卒)

〒101 東京都千代田区神田淡路町1-9  
ニューお茶の水402号  
☎ 03-252-6866 (代表)

**前田勇税務会計事務所**

税理士 前田 勇  
(高高38年卒)

事務所 〒102 東京都千代田区九段北4丁目1番5号  
市ヶ谷法曹ビル807号  
電話 03(265)9471番(代)

自宅 〒191 東京都日野市平山2丁目14番地6  
電話 0425(92)7760番



|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>珪素産業株式会社</b></p> <p>取締役社長 宗本徳禪<br/>(高中37回卒)</p> <p>東京都杉並区成田西1-17-8<br/>☎ 03(313)6505</p>                                                                                                                                                                                                                                                                              | <p><b>山本亮一特許事務所</b><br/>(高中37回卒)</p> <p>内外国・特許・商標・審判・鑑定</p> <p>〒103<br/>東京都中央区日本橋本町4-9(永井ビル)</p> <p>☎ 03(270)0858-9<br/>TELEX: 02226632 SANPATJ</p>                                                                                                                                                                                                |
| <p>旅行のご用命は</p> <p> <b>TPI</b> </p> <p><b>海外旅行企画株式会社</b><br/>TRAVEL PLAN INTERNATIONAL<br/>(運輸大臣登録一般旅行業第44号)</p> <p>〒107 東京都港区赤坂4丁目9番25号<br/>新東洋赤坂ビル<br/>電話 03(403)8111(代表)<br/>代表取締役 高坂篤<br/>(高中51回卒)</p> | <p>医薬品・医療用品総合販社</p> <p> <b>東鳴株式会社</b></p> <p>専務取締役 工藤政尚(高高27年卒)</p> <p>東京都足立区千住旭町7番25号<br/>電話 東京03(879)代表2211 〒120</p>                                                                                                                                            |
| <p><b>大西昭一郎法律事務所</b></p> <p>弁護士<br/><b>大西昭一郎</b><br/>(高高33年卒)</p> <p>千代田区丸の内3-1-1 国際ビル727区<br/>☎ 03-212-0841(代表)</p>                                                                                                                                                                                                                                                        | <p> 株式会社エイデザインセンター<br/>☎116 東京都荒川区町屋1-4-9<br/>TEL:03-809-0591 FAX:03-895-5367</p> <p>代表取締役 井上 榮 (高高33年卒)</p> <p> 井上美術印刷株式会社<br/>☎116 東京都荒川区町屋1-4-9<br/>TEL:03-819-0821(代)</p> |
| <p><b>税理士 山口修事務所</b></p> <p>税理士 山口 修<br/>(高高33年卒)</p> <p>事務所 東京都北区赤羽1-37-13<br/>城北ハイツ205<br/>☎ (903)4111</p>                                                                                                                                                                                                                                                                | <p>シール・ラベル<br/>各種メンバーズカード } 製造販売</p> <p><b>株式会社 / パシ</b></p> <p>代表取締役 林 征一郎<br/>(高高33年卒)</p> <p>〒104 東京都中央区八丁堀2-1-10 林ビル<br/>☎ (03)553-1811</p>                                                                                                                                                                                                    |

|                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                     |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>小型モーターのトップメーカー</p> <p><b>マブチモーター(株)</b></p> <p>専務取締役 中山信之<br/>(高高31年卒)</p>                                                                                                           | <p>スナック <b>アイビー</b></p> <p>渡 辺 浩<br/>(高高31年卒)</p> <p>豊島区東池袋1-41-14<br/>☎ (983)2720</p>                              |
| <p>株式会社 <b>エーブル</b></p> <p>代表取締役 芝草克久<br/>(高高37年卒)</p> <p>〒330 埼玉県大宮市宮町3-1 明秀ビル<br/>☎ 0486-44-5172</p>                                                                                  | <p>株式会社 <b>平田呉服店</b></p> <p>平 田 廣 (高高37年卒)</p> <p>新店舗開店 昭和63年10月</p> <p>〒760 高松市番町3丁目18番18号<br/>☎ (0878)31-3922</p> |
| <p>さぬきの酒</p> <p><b>綾 菊</b></p> <p>香川県綾歌郡綾上町山田下3393-1<br/>綾菊酒造株式会社</p>                                                                                                                   | <p>祝 東京玉翠会第6回総会開催</p> <p>(在高松 高高40年卒)</p> <p>中山隆司、中山義孝、角田朝則<br/>鎌田嘉秀、井川 実、三村繁大<br/>佐々木敏晴</p>                        |
| <p><b>濱田法律事務所</b></p> <p>濱 田 清 (高高32年卒)</p> <p>〒102 千代田区平河町1の8の2<br/>山京半蔵門パレスビル604<br/>TEL 03-221-6261</p>                                                                              | <p>ご接待、ご会合に<br/>数寄屋づくりの座敷とテーブルで<br/>日本料理</p> <p><b>わん坊</b></p> <p>渋谷区神泉町10-9(トヨペット前)<br/>TEL 03-464-4121</p>        |
| <p>建設コンサルタント(下水道部門)</p> <p><b>日新技術株式会社</b></p> <p>代表取締役 恵比須 忠(高高42年卒)</p> <p>〒160 東京都新宿区百人町1-6-15 ヤナギヤビル<br/>TEL (200)9269(代)</p>                                                       | <p><b>オガワ歯科医院</b></p> <p>小 川 淳 (高高42年卒)</p> <p>小田急読売ランド駅前<br/>川崎市多摩区西生田3-7-22<br/>TEL044-955-0558</p>               |
| <p>ソフトウェアの新世代を創造する<br/>——リサーチ&amp;ディベロップメント専門企業——</p> <p><b>ソフトウェアジェネレーション(株)</b></p> <p>代表取締役 木村昭二(昭和32年卒)</p> <p>〒102 千代田区飯田橋1-7-10 山京別館 7F<br/>TEL 03-234-5638</p> <p>◀技術者募集中!!▶</p> |                                                                                                                     |





**まなべ光広**

(高高33年卒)

事務所 〒760 高松市今里町347番地  
TEL (0878)67-5500 (代)

東京店 〒107 東京都港区赤坂三十一丁三  
TEL (03) 五八三一九八三六

石原誠次

香川 **やまざ**  
瀬戸内海の魚料理  
私は代々志度町の魚屋です。この度、  
一念発起し、華の赤坂に出て参りました。  
瀬戸内の魚を毎日空輸し、お客様に召  
しあがっていただき、ご好評を得ており  
ます。是非一度ご試食下さい。

政府指定  
発券許可



倉庫・荷役・輸送

**高松臨港倉庫株式会社**

山田 勇 (高高29年卒)  
山田 平一郎 ( " )

高松市城東町1丁目4番3号 TEL 高松 (0878) 51-7611(代)

トロフィ・バッチ・カップ・ホーロー標識・合成樹脂加工  
橋・各種盃・花瓶・校旗・優勝旗・ネームプレート・記念品全般



**伊藤久芳堂商会**  
有限会社

伊藤 壽 (高高48年卒)

高松市御坊町10-18(御坊通り) TEL (高松) 51-3666 (代表)

眼鏡店

**オプティッククラ**

渋谷店 Tel.03 (499)2156 立川店 Tel.0425(27)8079  
新宿店 Tel.03 (352)6531 町田店 Tel.0427(24)8199  
日本橋店 Tel.03 (667)7071 横浜西口店 Tel.045(321)6871  
市ヶ谷店 Tel.03 (264)5178 横浜東口店 Tel.045(453)6501  
八王子店 Tel.0426(46)5515 藤沢店 Tel.0466(26)2877



**RAINBOW CONTACT LENS**  
**レインボー**  
**コンタクトレンズ**  
千代田区平河町1-6-2 03(263)5565

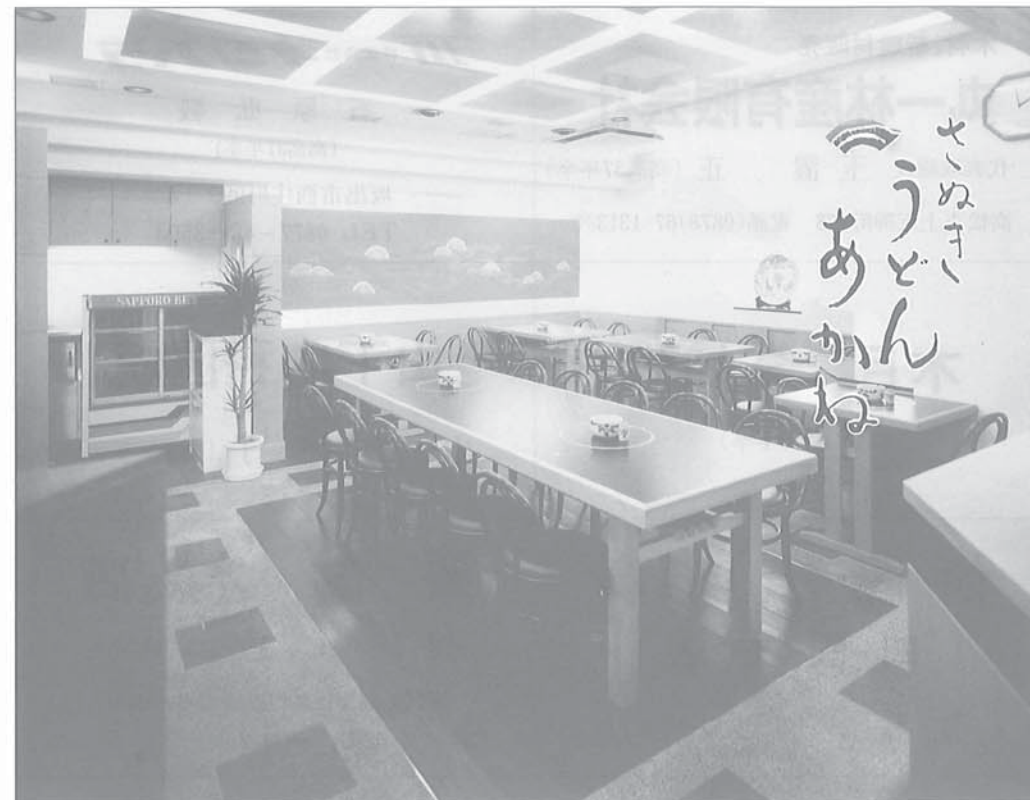
四国讃岐名物手打うどん

(株)さぬき屋

三嶋満代 (旧姓 篠塚) (高高38年卒)



鴨居駅前店 緑区鴨居駅前ビル内 ☎ (045)934-1813  
鴨居店 緑区東本郷団地前 ☎ (045)471-9778  
千丸台店 保土ヶ谷区千丸台団地前 ☎ (045)381-3277  
成瀬店 町田市成瀬駅前ハイツ ☎ (0427)27-0184

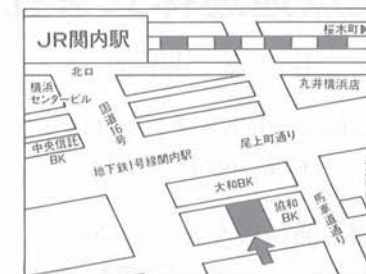


さぬき屋  
うどん  
あかね



さぬき屋  
あかね

関内店 営業時間▶午前11時~午前1時  
横浜市中区常盤町4-52乃屋ビル地下1階  
☎ (045) 662-6451



株式会社 **讃岐商会**

株式会社 **サンキ**


代表取締役 前谷 亮三 (高高30年卒)

高松市郷東町468番地1  
☎ (0878) 82-2121 (大代表)

東京都千代田区神田淡路町1-9-7  
岡本ビル3階 〒101  
☎ (03) 252-2451~3



|                                                                                                                             |                                                                                                                                                                        |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>木材、新建材販売<br/><b>丸一林産有限会社</b><br/>代表取締役 玉置 正 (高高37年卒)<br/>高松市上天神町128 電話(0878)67-1313(代)</p>                               | <p> 株式会社 <b>イシハラ</b><br/>石原 弘毅<br/>(高高37年卒)<br/>坂出市西庄町999-4<br/>TEL 0877-46-3503</p> |
| <p><b>木目 三知代</b><br/>(高高39年卒)</p>                                                                                           | <p><b>山下内科医院</b><br/>山下 裕子 (高高39年卒)</p>                                                                                                                                |
| <p><b>伊藤忠商事</b><br/><b>四国支店</b><br/>佐藤 勝 (高高39年卒)</p>                                                                       | <p><b>栗材木店</b><br/>栗 一夫 (高高39年卒)<br/>〒760 高松市錦町2丁目8番24号<br/>TEL 0878(21)7511</p>                                                                                       |
| <p><b>丸点通運株式会社</b><br/>塩田 嘉明 (高高39年卒)<br/>〒760 高松市朝日町5丁目15番1号<br/>TEL (0878)21-5091</p>                                     | <p>株式会社 <b>ハスイ</b> 酒店<br/>蓮井 愛子 (高高39年卒)<br/>〒760 高松市瓦町1丁目12の23<br/>TEL &lt;0878&gt;34-0505(代)</p>                                                                     |
| <p>共同石油株式会社 特約店<br/><b>小松石油有限会社</b><br/>代表取締役 小松 安夫<br/>(高高39年卒)<br/>仏生山給油所 高松市出作町171<br/>TEL (0878)89-1366</p>             | <p><b>くまがい薬局</b><br/>熊谷 温子 (高高39年卒)<br/>香川県綾歌郡綾歌町栗熊東行末<br/>TEL 0877(86)2183</p>                                                                                        |
| <p>美容室 <b>しらい</b><br/>白井 澄江 (高高39年卒)<br/>美容室 高松市瓦町1丁目10の7<br/>TEL (0878)31-5745<br/>本社 高松市築地町8の28<br/>TEL (0878)21-3653</p> | <p> <b>KURIYA</b><br/>安田 春子 (高高39年卒)<br/>高松市丸亀町7-5</p>                             |



**MORISHIGE**  
家具はその人の心や人柄をしのばせます——いいものをお選びください。  
株式会社 **モリシゲ**  
本社・工場/高松市上福岡町855 〒760 TEL (0878)61-0281(代)  
常務取締役 森 弘文 (高高39年卒)


時代に咲いて

**RAKUDAYA & SONS Co., Inc.**


●ラダヤ21-0696-21-3752(2F) ●エーエム・ピーエム22-4415 ●ハーファム22-6914 ●サブ・スリール22-3625 ●ダウンスチアーズ21-5512 ●イン&ヤンコレクション22-6988 ●49AVジュンコンマダ22-6112 ●スペース21(パート)21-35-1331/ゴッシュ/フェアラビーズ/ビバユー/ヒロチ・ナカ/エスピー・エグム/アルタパックス ●スペース21(パート)21-35-1333/フロム・ニル/ナブ・ノエル/アトリエ・サブ ●ロベコレクション23-8108  
Head Office: 5-5 Minamishinmachi Takamatsu Phone 0878-33-8105

高松高校昭和39年卒 代表取締役 田中 寿太郎

スクリーン印刷・スクリーン製版・スクリーン材料販売

 **SCREEN 讃岐**  
藤井 武範 (高高39年卒)  
〒761 高松市西山崎町399番地2 TEL (0878)86-6444

「天井の高い家」「ROOMY」

 **旭ホームズ株式会社**  
本社/東京都新宿区西新宿1-19-5 〒160 ☎ 03(344)9415(大代表)

ふる里の味 自然の味  
全国各地へ発送いたします

天ぷら・かまぼこ・からすみ  
鯛の浜焼・鱈の味噌漬

**魚 徳 本 店**  
高松市片原町 TEL 0878(21)3530  
FAX 0878(21)2733



香川大学教授

井 原 理 代

(高高39年卒)

勤務先 香川大学経済学部  
〒760 高松市幸町2番1号  
電話 (0878)61-4141

株式会社 高松合同企画

司法書士

藤 川 吉 洋

(高高39年卒)

〒761 高松市三条町336番地2  
TEL (0878)67-0088(代)  
FAX (0878)65-4546

(株) 谷本コンクリート

専務取締役 谷本 一二三  
(高高39年卒)

〒761-01  
木田郡牟礼町大字大町447-3  
☎ (0878)45-9551(代)

四国緑化産業株式会社

代表取締役 宮 崎 博 文  
(高高39年卒)

坂出市府中町4081番地  
☎ (0877)48-0856

御銘茶  
茶道具  
お茶の庵屋

尾 崎 正 澄

(高高39年卒)

本店/高松市丸亀町13-1 ☎0878(51)8349(代)・〒760



株式会社 タマル

高松市常磐町1丁目8-1 ☎0878(61)2400代・〒760

吉 岡 哲 朗 (高高39年卒)

吉 岡 英 哲 (高高42年卒)

DYNAX TAKAMATSU, CO LTD  
CAI SYSTEM SERVICE

株式会社 ダイナックス高松

教育ソフト研究所・高松

代表取締役

大和田 昭邦

(高高39年卒)

〒761 高松市松縄町599-1  
PHONE : (0878)67-7770・67-7771  
FAX : (0878)67-7799

銘木問屋

株式会社 三好商店

三好 莊 治 (高高39年卒)

高松市勅使町499-1  
☎ (0878)65-2288  
FAX (0878)65-2612

嶋 暉幸税理士事務所

所長 嶋 暉幸  
(高高39年卒)

〒760 高松市古新町10-3  
☎ (0878)51-0109

フランス菓子 春風堂

高松市丸亀町4-7  
☎ (21)3810

千切谷 次郎 (高高39年卒)  
千切谷 耕美 (高高39年卒)

★お贈りした方の心が伝わる——。



ギフト・デパート  
株式会社 新大阪

高松・新空港通り ☎67-1238(代) 詫間店 ☎83-2413(代)

豊島 侑 (高高39年卒)



豊中本店 善通寺店 大野原店

三木店 川之江店 伊予三島店

代表取締役 川 添 正 智  
(高高39年卒)

香川県三豊郡豊中町笠田笠岡  
TEL (0875)62-3228(代表)  
川添金物機工株式会社



## 武田歯科医院

院長 武田 一憲

(高高39年卒)

〒760 高松市寿町2-5

☎ (0878)22-0972

## 金沢歯科医院

院長 金沢 健

(高高39年卒)

〒760 高松市天神前7-19

☎ (0878)31-6891

## 中井歯科医院

院長 中井 護

(高高39年卒)

〒761 高松市円座町496番地

☎ (0878)85-2335(代)

## 三好歯科医院 MIYOSHI DENTAL CLINIC

三好 正弘 (高高38年卒)

美代子

〒760 高松市福岡町2丁目29-30

TEL (0878)22-2542(代)

内科・胃腸科・循環器科

## 蓮井内科医院

院長 蓮井 直行

(高高39年卒)

高松市太田上町塩江街道沿(三名バス停前)

☎ (0878)88-1331

内科・小児科

## 岩部 医 院

医学博士 岩部 道孝

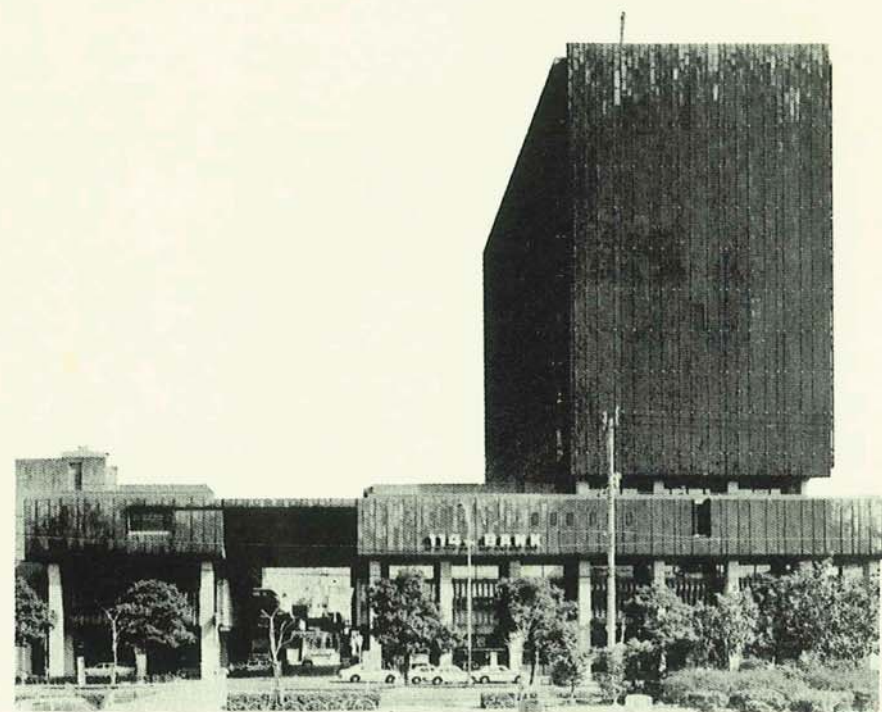
(高高39年卒)

〒760 高松市松福町2-10-10

☎ (0878)21-6203(代)

確かな明日へ

信頼のお手伝い。



## 百十四銀行

- 本 店 高松市亀井町
- 支 店 東京・新宿・青山  
新川(7月25日開店予定)  
外120ヶ店
- 海 外 ニューヨーク支店・ロンドン事務所



# シャンプーとリンスが ひとつになっても 新発売!



すすぐとリンスに変わるシャンプー

SHISEIDO  
**リンプー**

3つの香り各1,500円(300ml)/各400円(80ml) 新発売

## 新しいねリンプー

シャンプーとリンス。このわがらがたい一つが一つです。ほんのり便利な。そんなシングルな発想から生まれた、新しいタイプのシャンプー。それがリンプーです。作るの簡単? いえシャンプーとリンスを混ぜただけでは沈殿してしまい、洗上がりも不合格。これらの問題を解決するには、イオペアという新しい成分の開発が必要でした。

## すすぐとリンスに変わる

このイオペアの働きで、初めはシャンプーマイルドな使用感で、髪の上をまわって落とします。そして水やぬるま湯ですすぐと、ほら、リンスに変わっていきます。この変化がとてものしい。指じおりのもめらがで、仕上がりがサラサラ。リンスと同じ効果です。だからこれから、朝も、夜も、リンプー一本。